

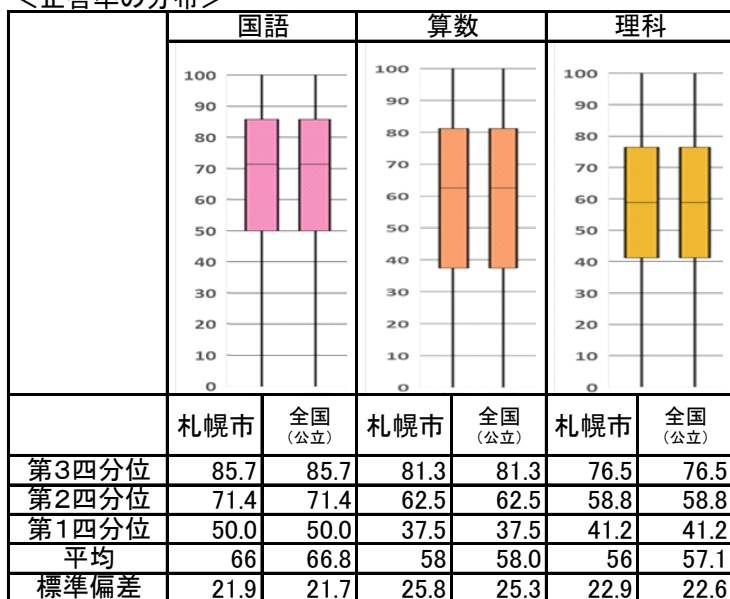
令和7年度 全国学力・学習状況調査 都道府県・指定都市別ノート

1. 札幌市

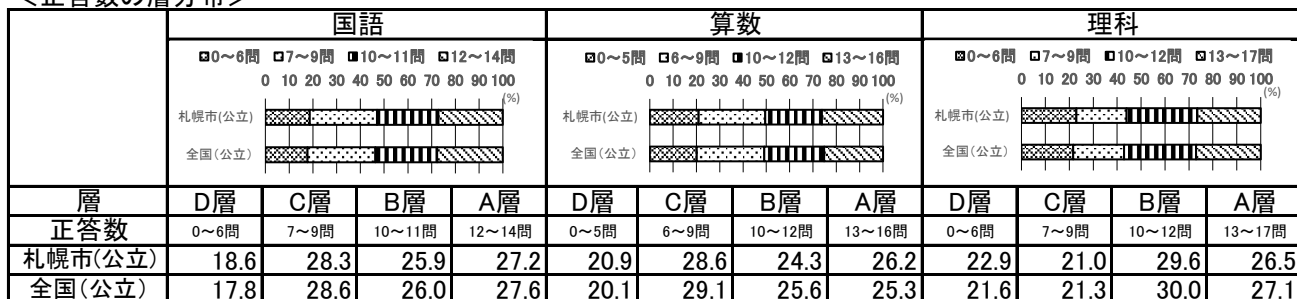
【1】教科調査・質問調査の結果

① 小学校

＜正答率の分布＞



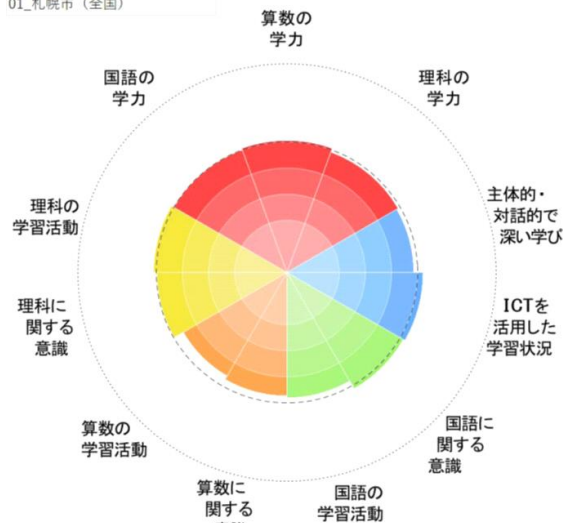
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

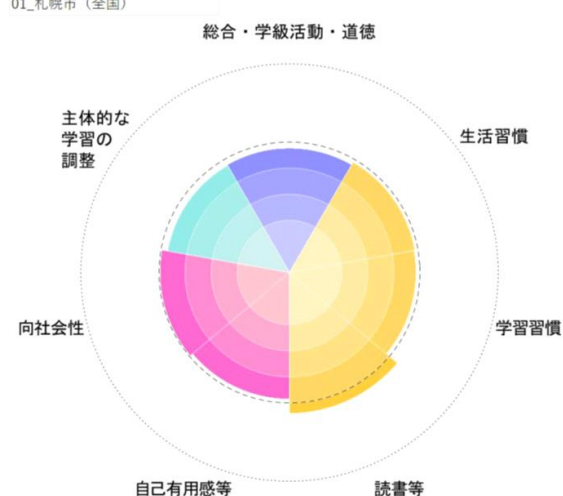
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

01_札幌市(全国)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)

01_札幌市(全国)



②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>

	国語		数学		理科	
	札幌市	全国 (公立)	札幌市	全国 (公立)	札幌市	全国 (公立)
第3四分位	71.4	71.4	80.0	73.3	584	572.5
第2四分位	57.1	57.1	46.7	46.7	502	494.6
第1四分位	42.9	42.9	26.7	26.7	429	422.1
平均	56	54.3	51	48.3	515~	503.3
標準偏差	19.6	19.5	29.2	28.2	132	124.0

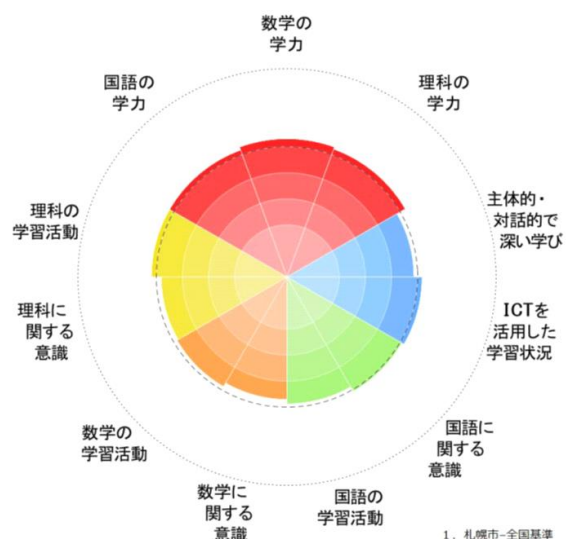
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

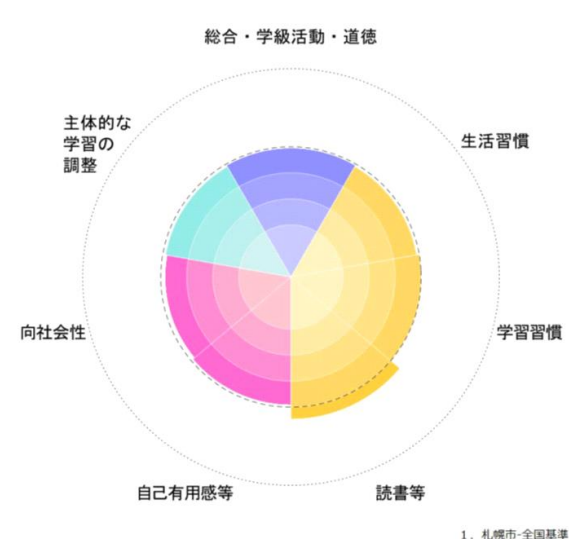
	国語				数学				理科				
	札幌市(公立)				札幌市(公立)				札幌市(公立)				
	全国(公立)				全国(公立)				全国(公立)				
層・IRTバンド	D層	C層	B層	A層	D層	C層	B層	A層	1	2	3	4	5
正答数・IRTバンドスコア	0~5問	6~7問	8~9問	10~14問	0~3問	4~6問	7~10問	11~15問	~317	318~442	443~567	568~691	692~
札幌市(公立)	21.1	23.2	27.5	28.2	21.7	22.6	24.4	31.4	3.4	25.8	41.5	21.3	8.0
全国(公立)	22.4	24.2	27.5	25.9	23.7	23.3	26.1	26.9	4.2	27.3	42.0	20.3	6.2

<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

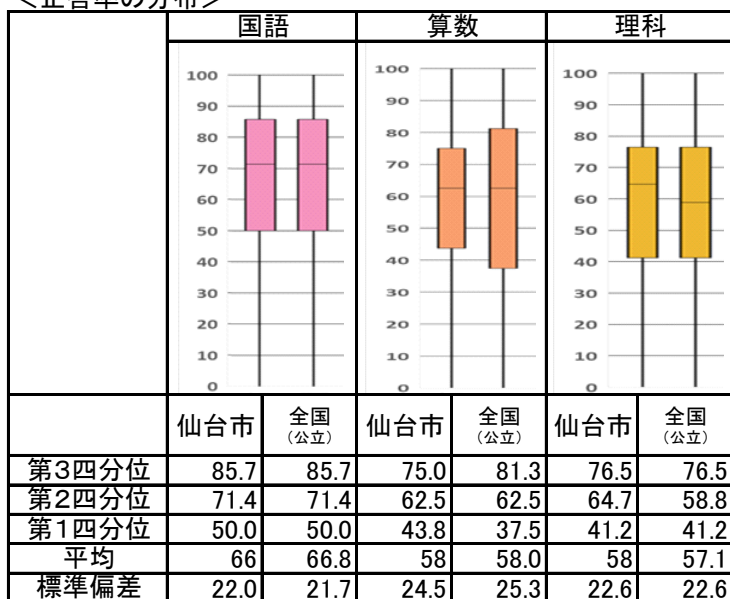
- ・小学校においては、「読書等」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「算数の学習活動」や「主体的な学習の調整」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「読書等」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「数学に関する意識」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

2. 仙台市

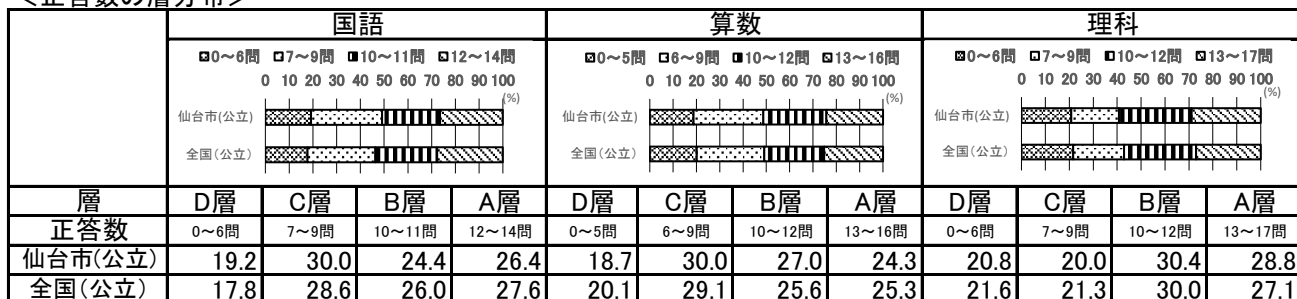
【1】教科調査・質問調査の結果

① 小学校

＜正答率の分布＞



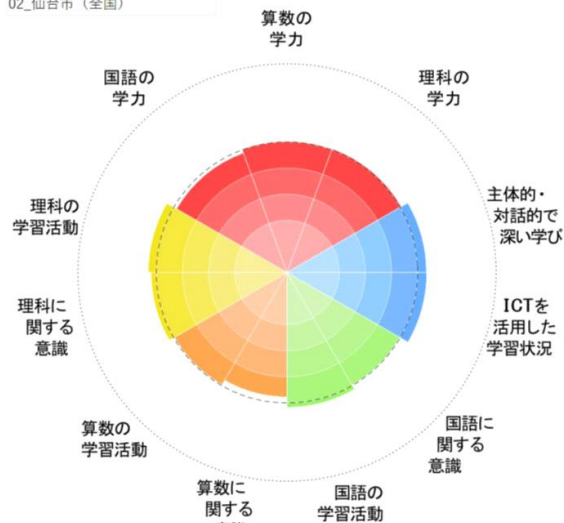
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

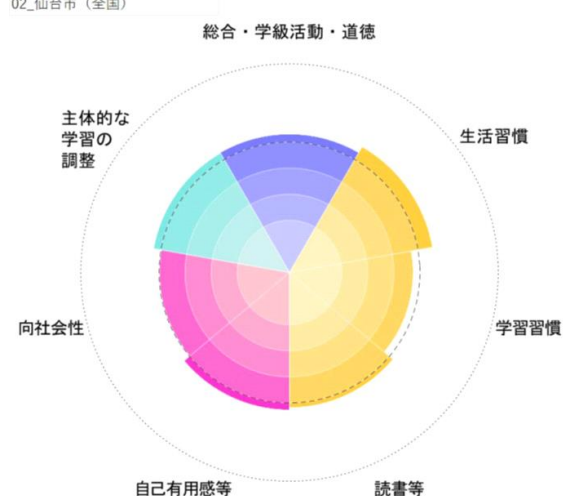
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

02_仙台市(全国)



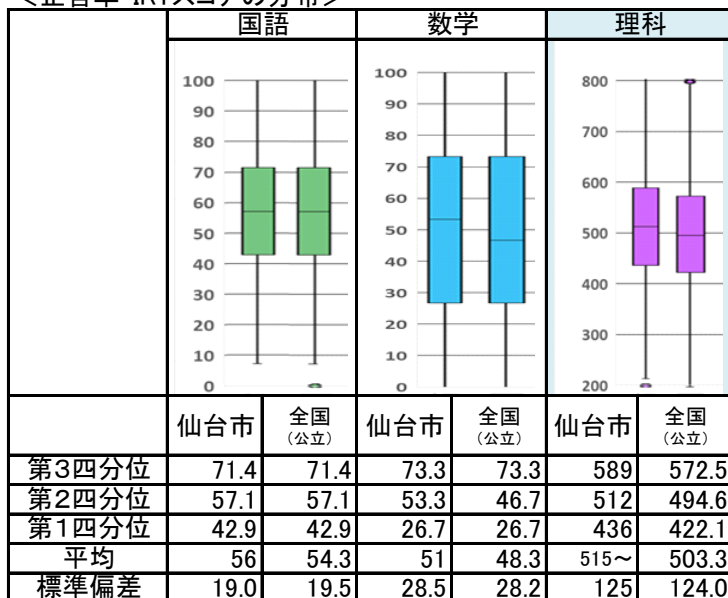
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

02_仙台市(全国)



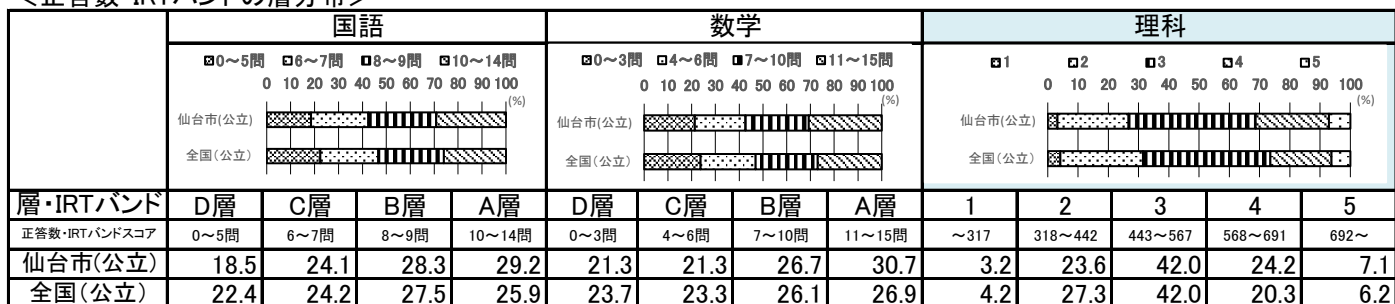
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



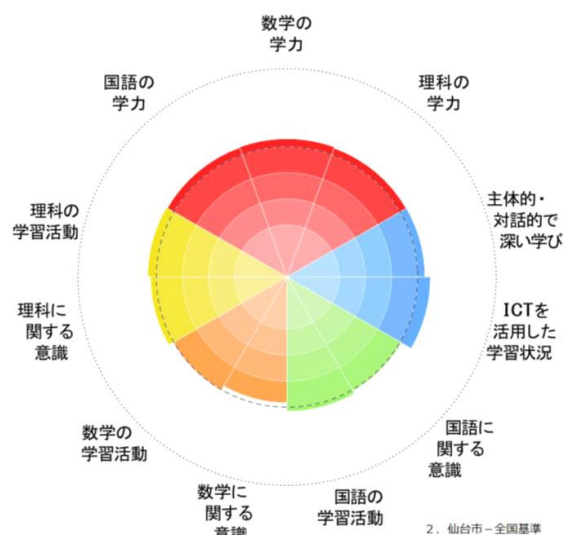
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

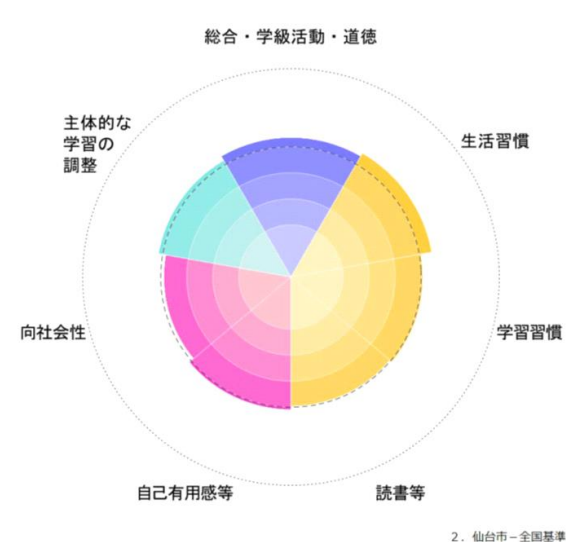


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

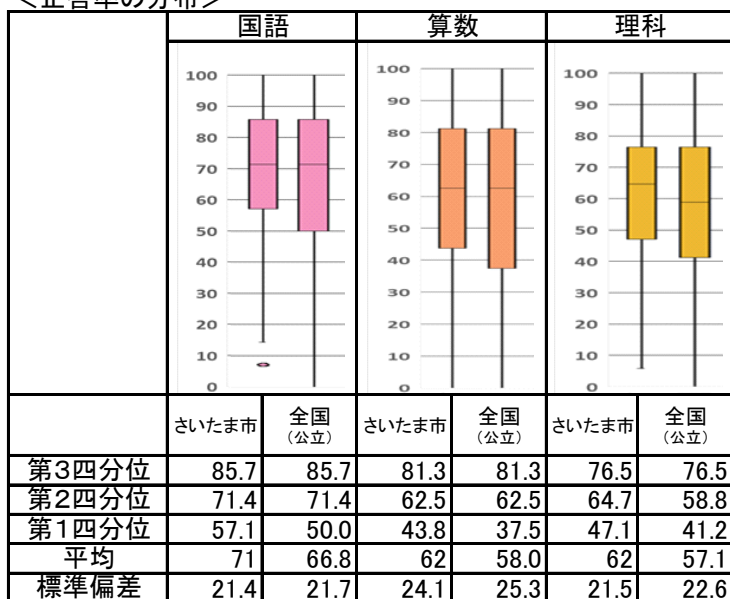
- ・小学校においては、「生活習慣」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「生活習慣」は、全国と比較しても高い)。また、「学習習慣」や「算数に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「生活習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「数学に関する意識」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

3.さいたま市

【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



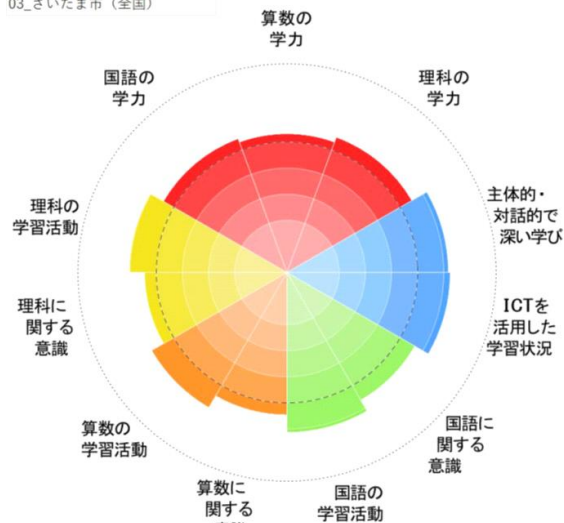
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

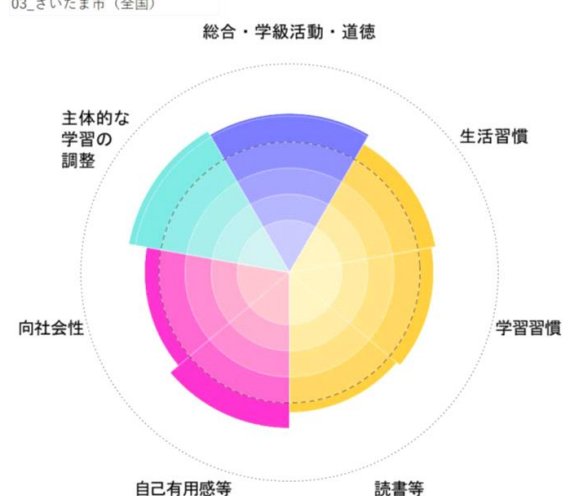
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

03_さいたま市(全国)



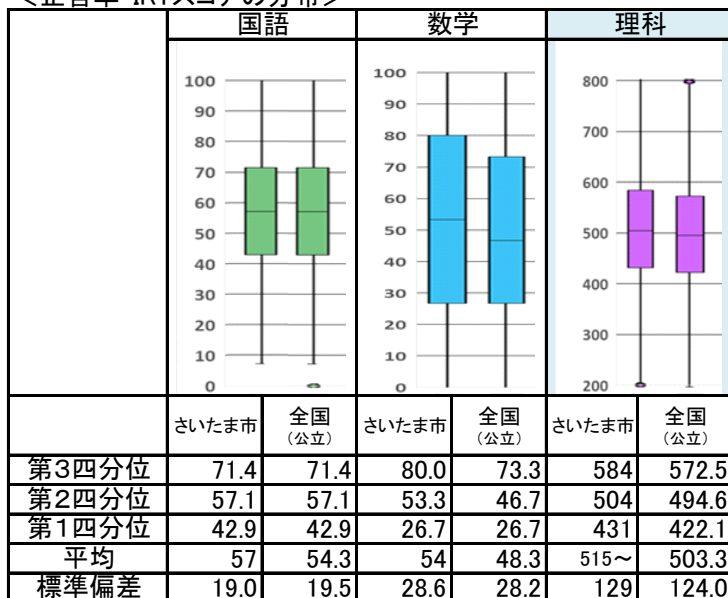
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

03_さいたま市(全国)



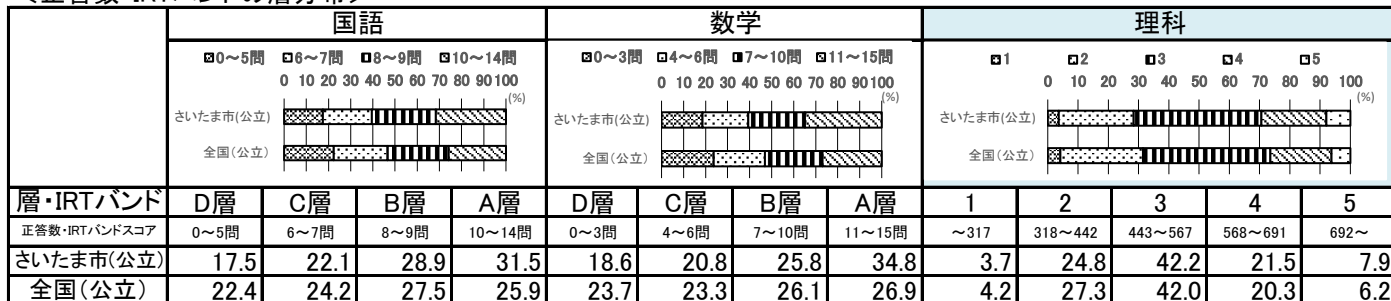
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



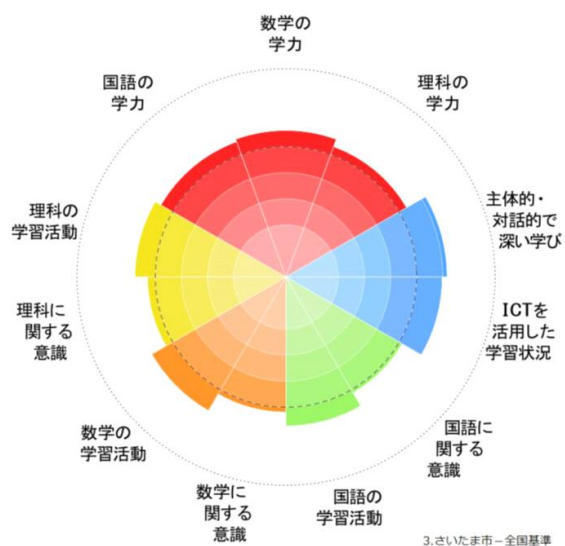
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

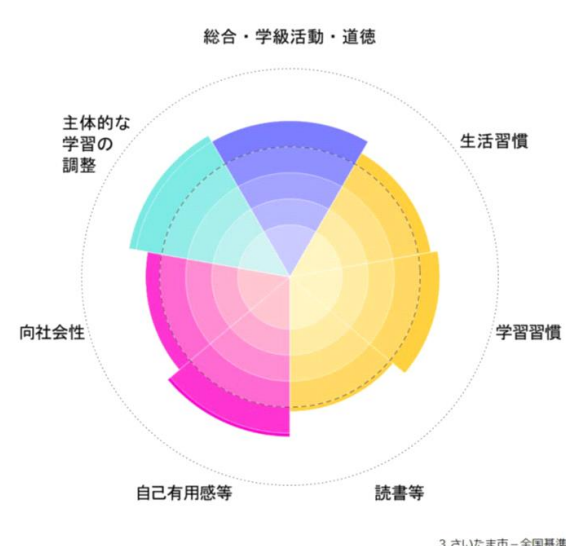


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

・小学校においては、「主体的・対話的で深い学び」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「読書等」や「算数に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている(なお、いずれも、全国平均より高い)。

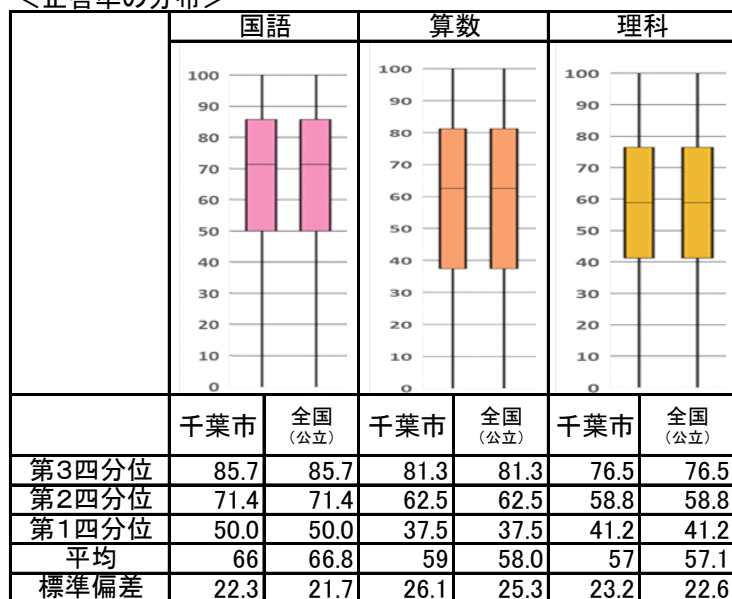
・中学校においては、「主体的な学習の調整」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「読書等」や「国語に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている(なお、いずれも、全国平均より高い)。

4. 千葉市

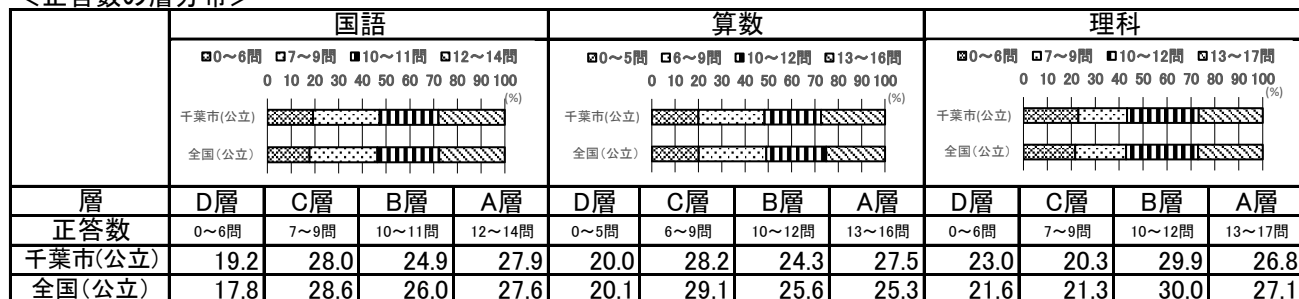
【1】教科調査・質問調査の結果

① 小学校

＜正答率の分布＞



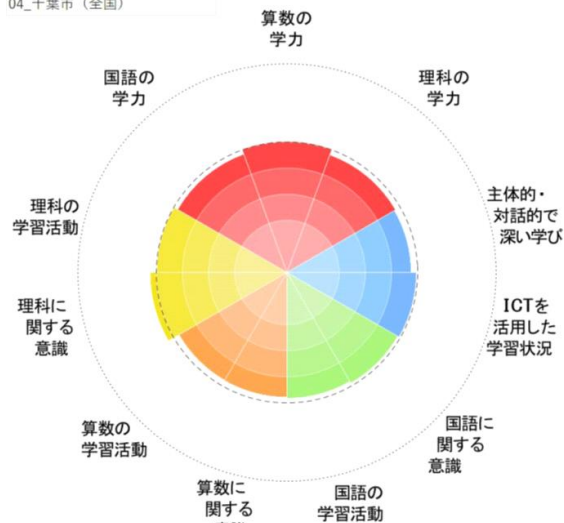
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

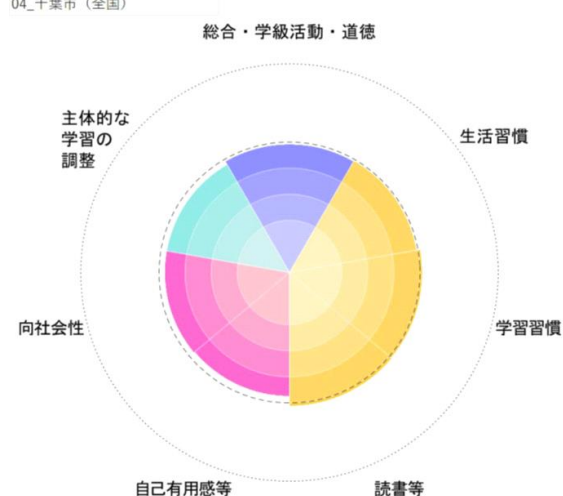
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

04_千葉市(全国)



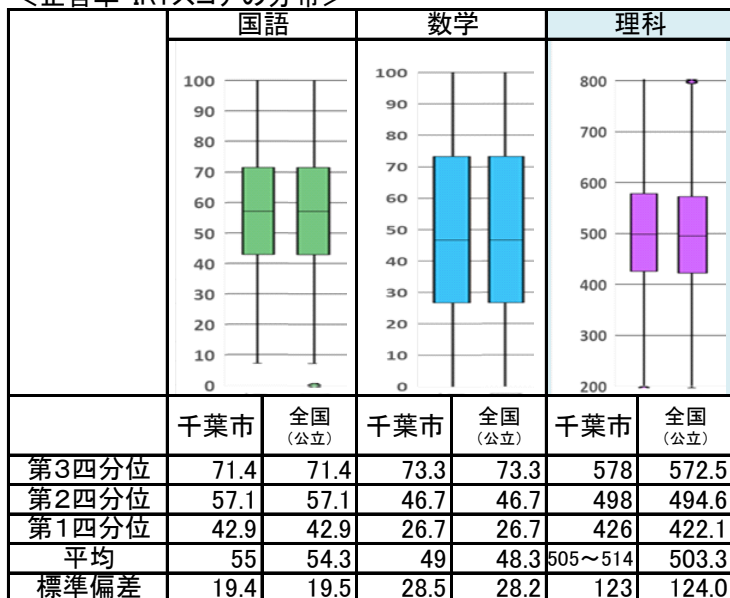
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

04_千葉市(全国)



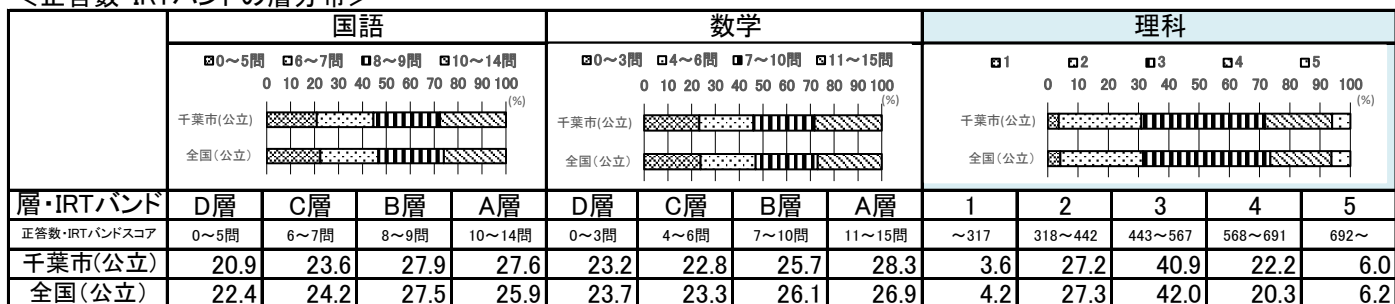
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



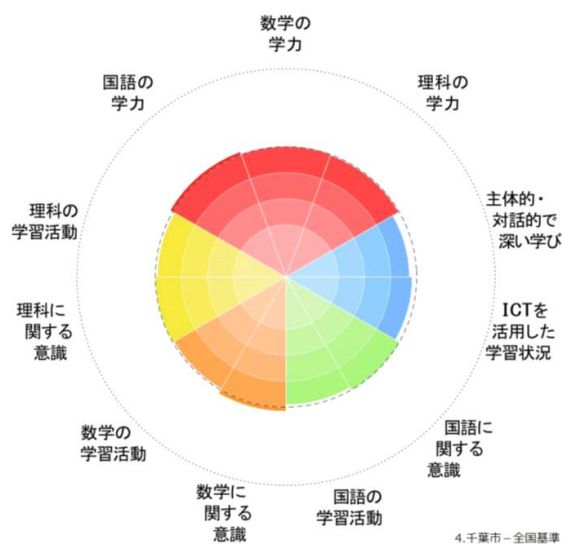
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

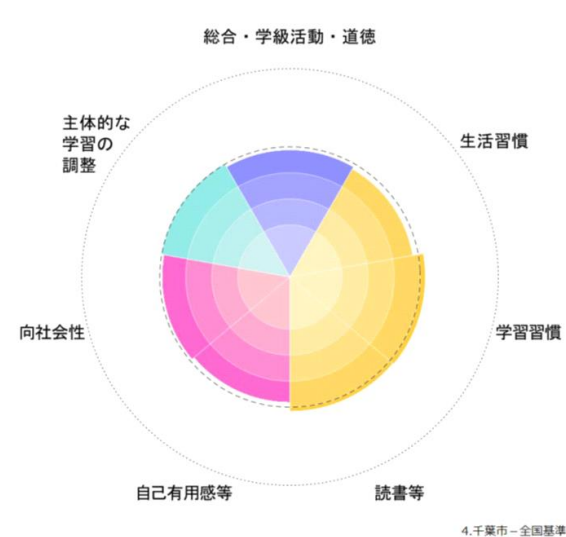


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

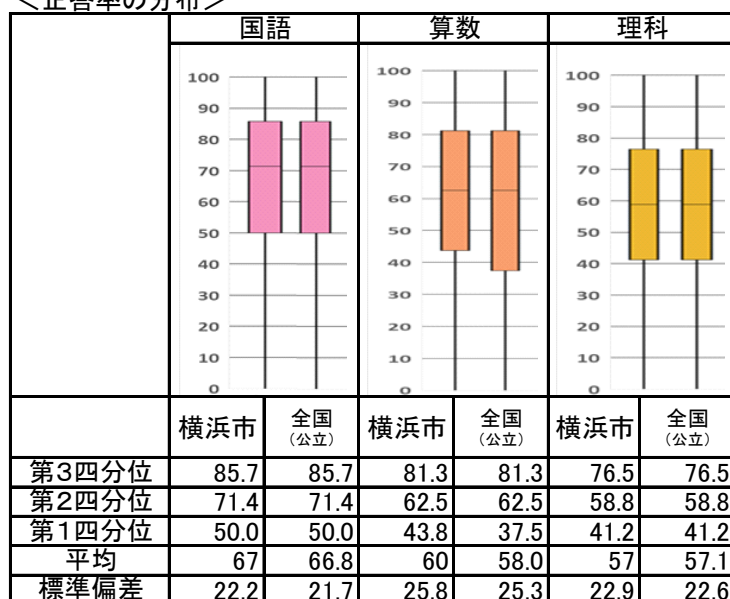
- ・小学校においては、「理科に関する意識」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「主体的・対話的で深い学び」や「自己有用感等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「主体的・対話的で深い学び」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

5.横浜市

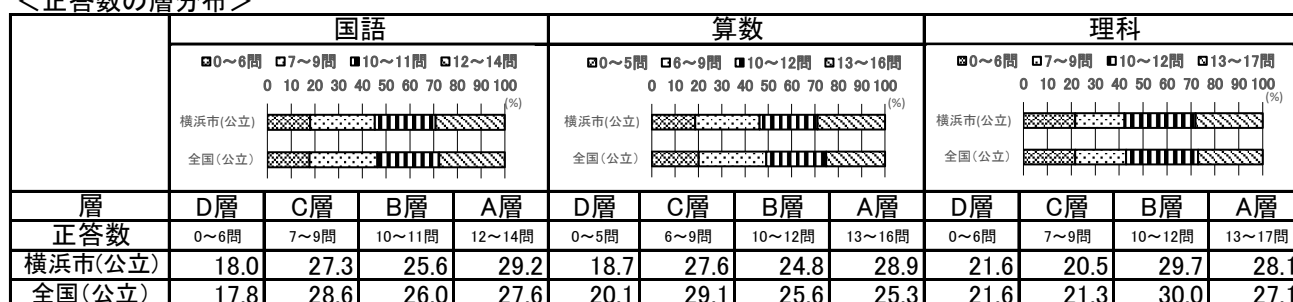
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



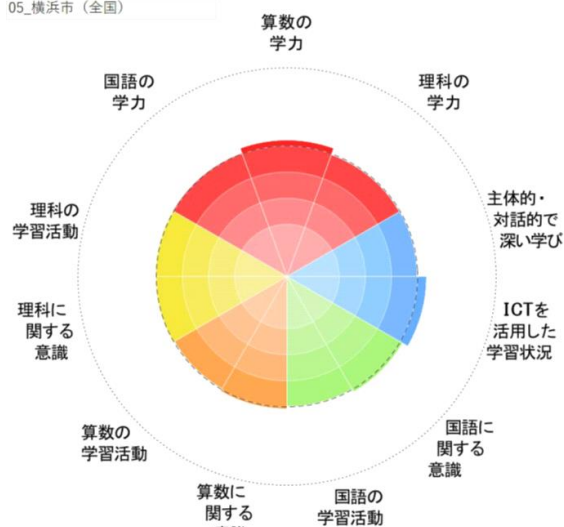
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

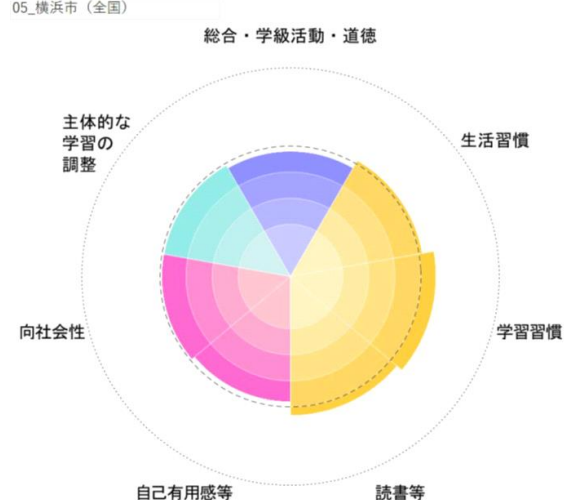
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

05_横浜市(全国)



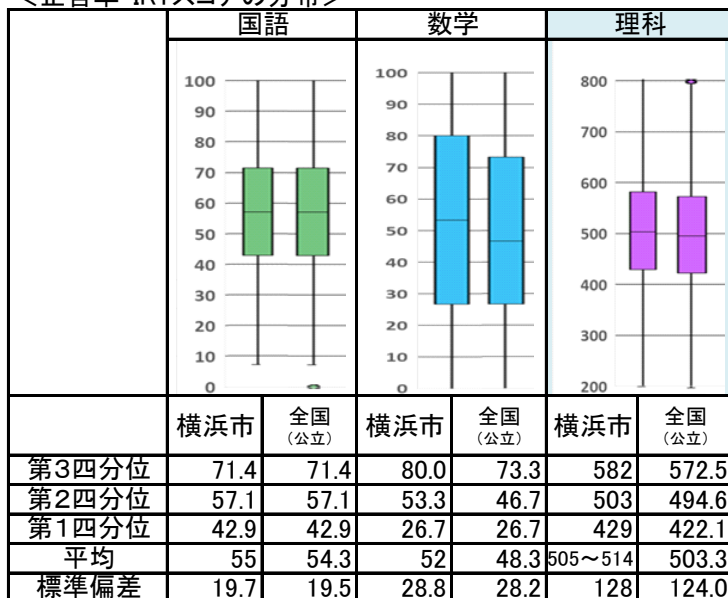
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

05_横浜市(全国)



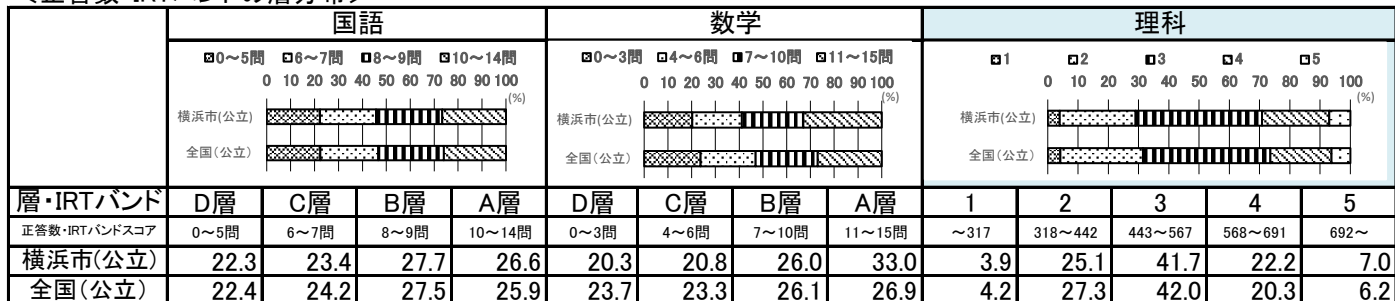
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



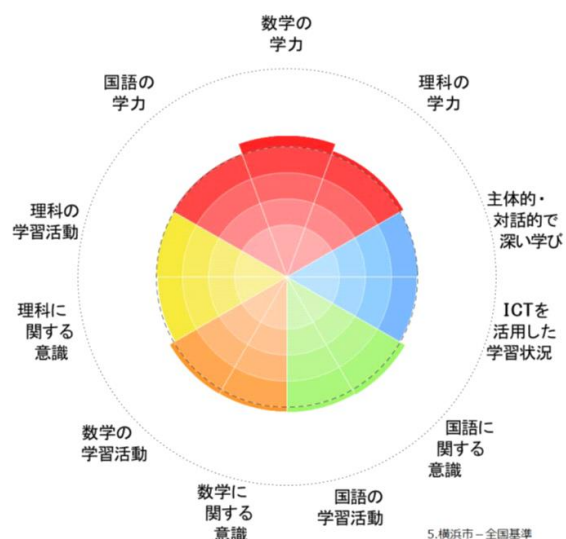
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

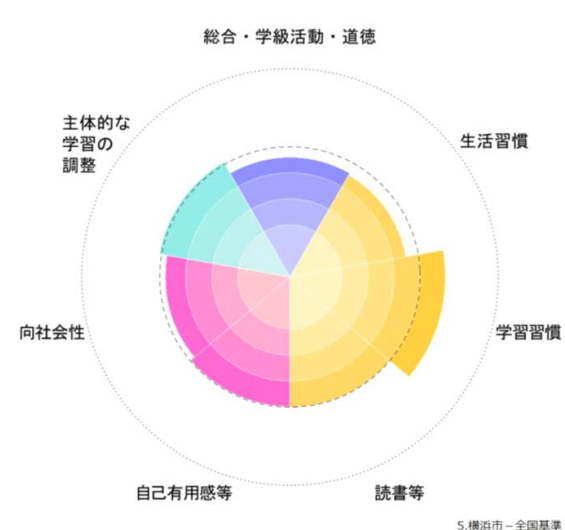


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

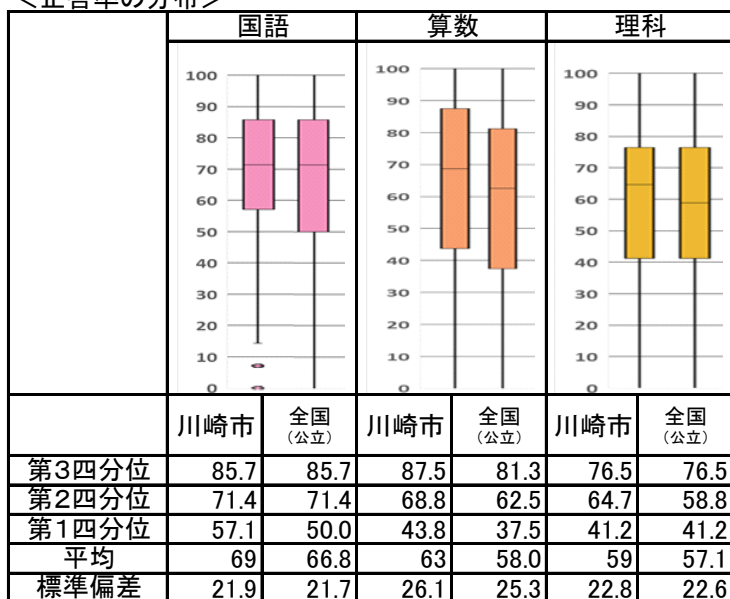
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「学習習慣」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても高い)。また、「総合・学級活動・道徳」や「自己有用感等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「国語に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても高い)。また、「生活習慣」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「生活習慣」は、全国と比較しても低い)。

6.川崎市

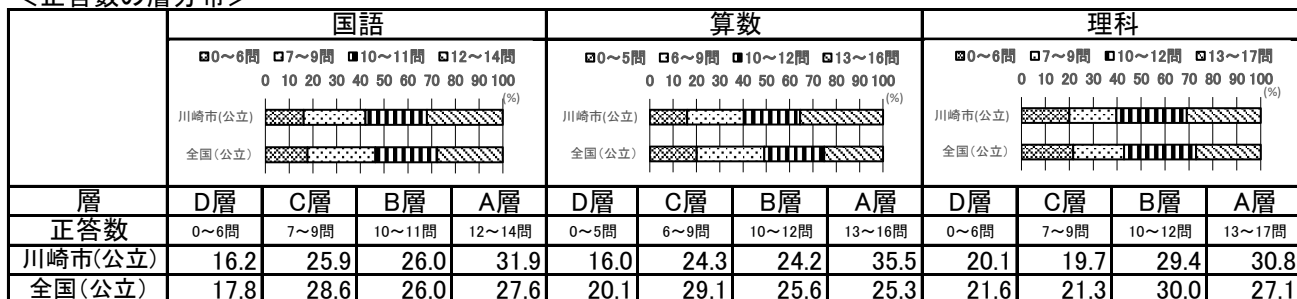
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



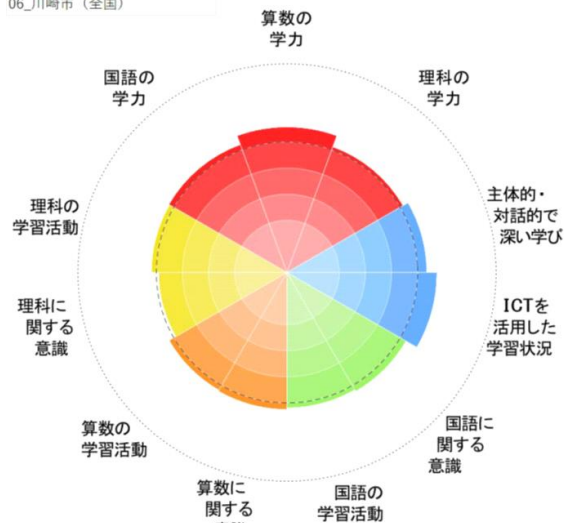
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

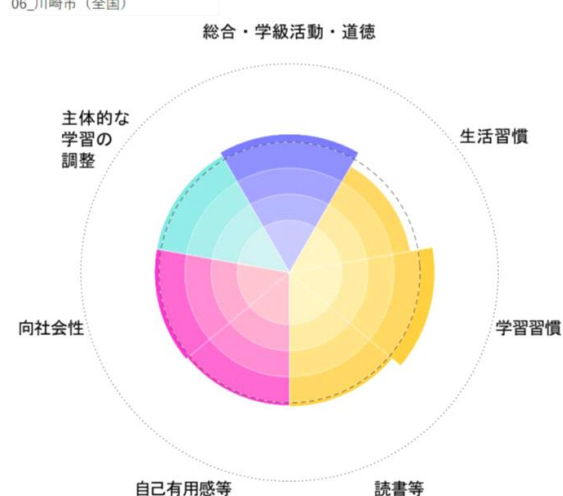
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

06_川崎市(全国)



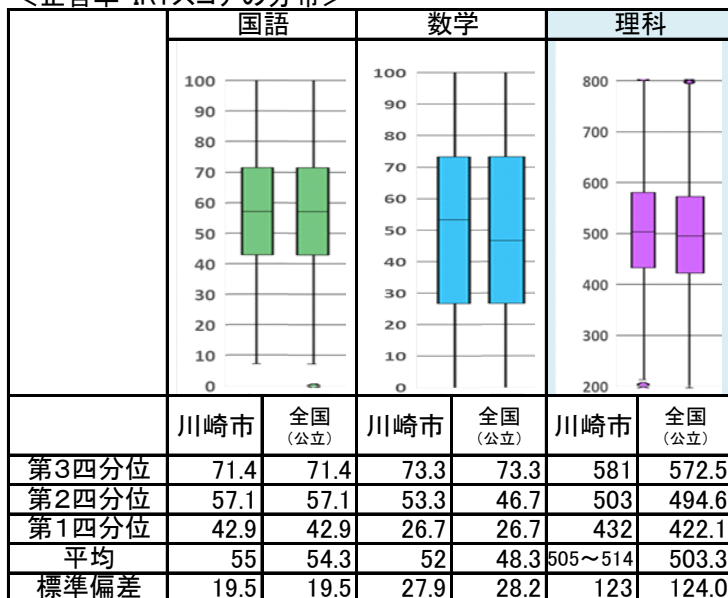
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

06_川崎市(全国)



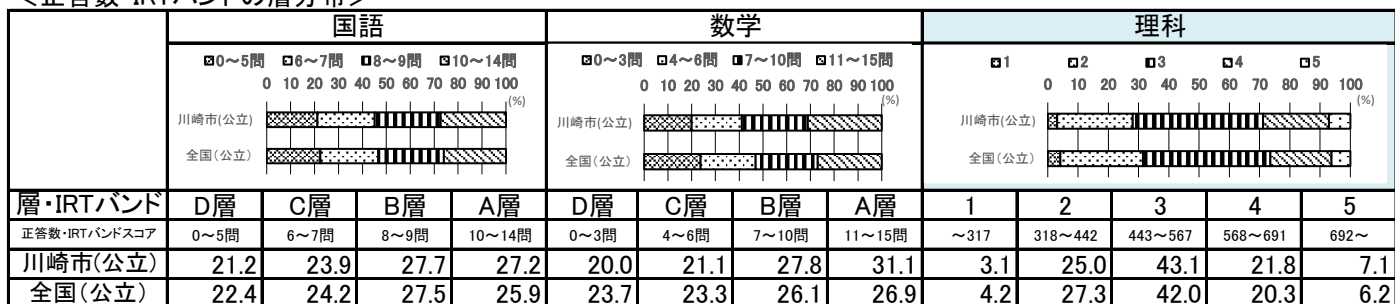
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



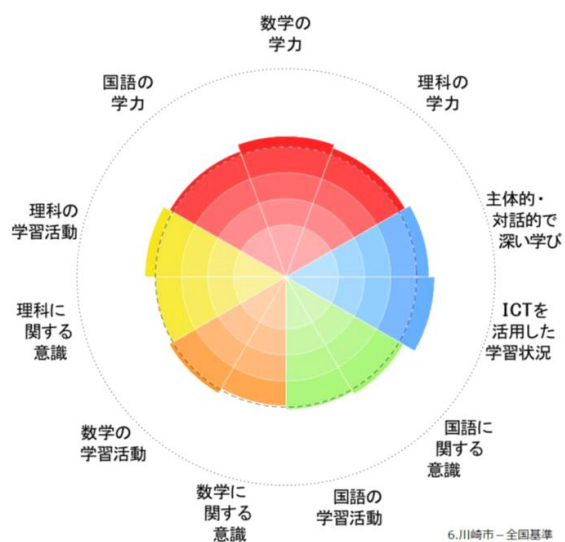
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

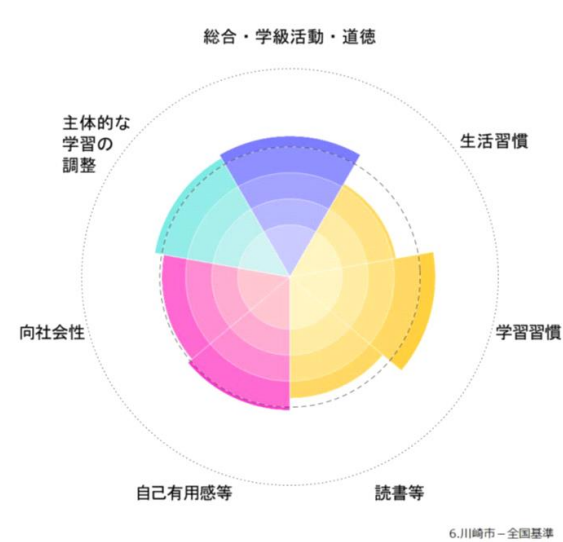


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

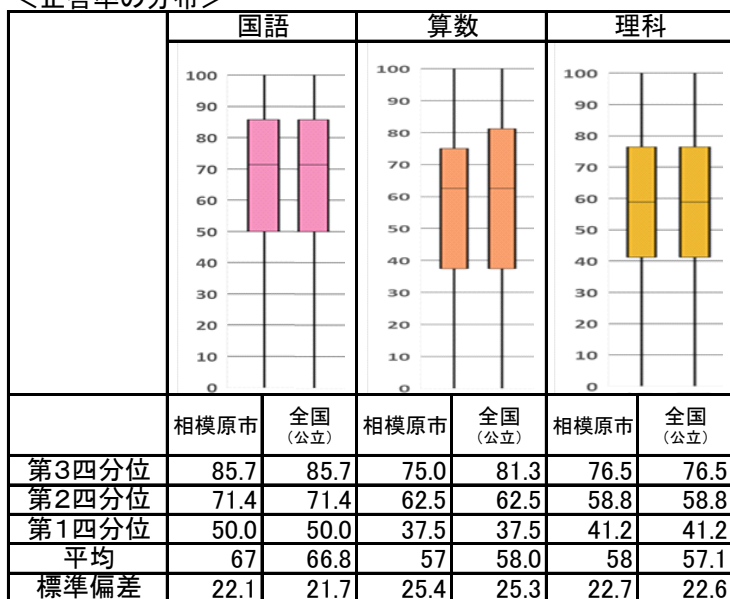
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「生活習慣」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「生活習慣」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「生活習慣」は、全国と比較しても低い)。

7.相模原市

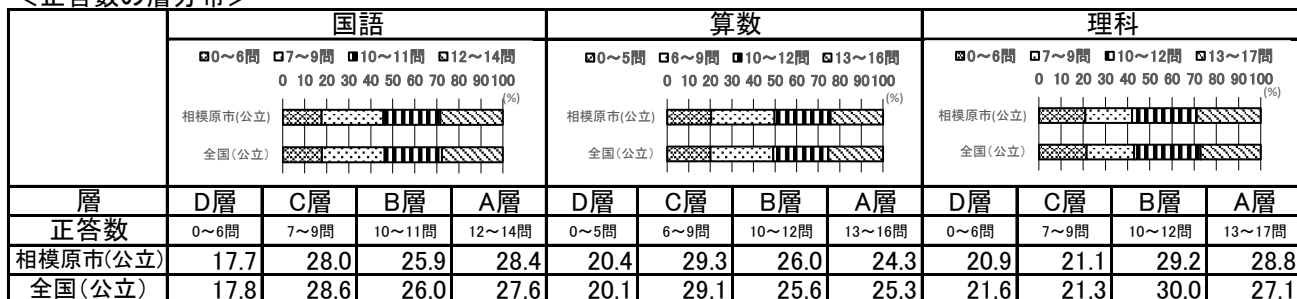
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



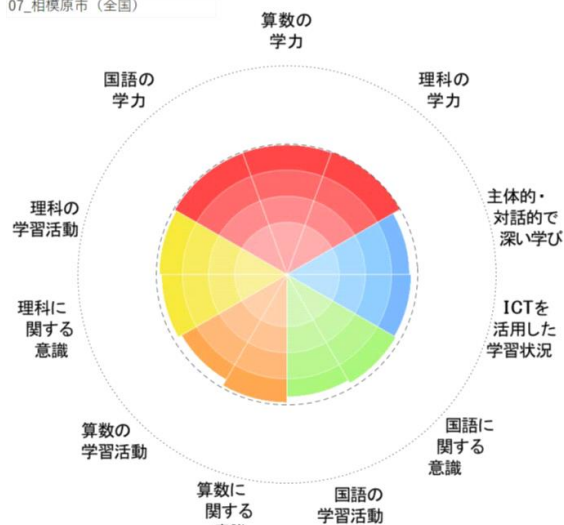
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

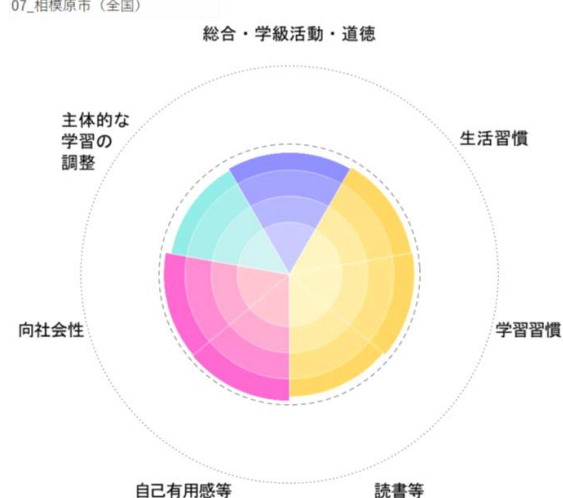
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

07_相模原市(全国)



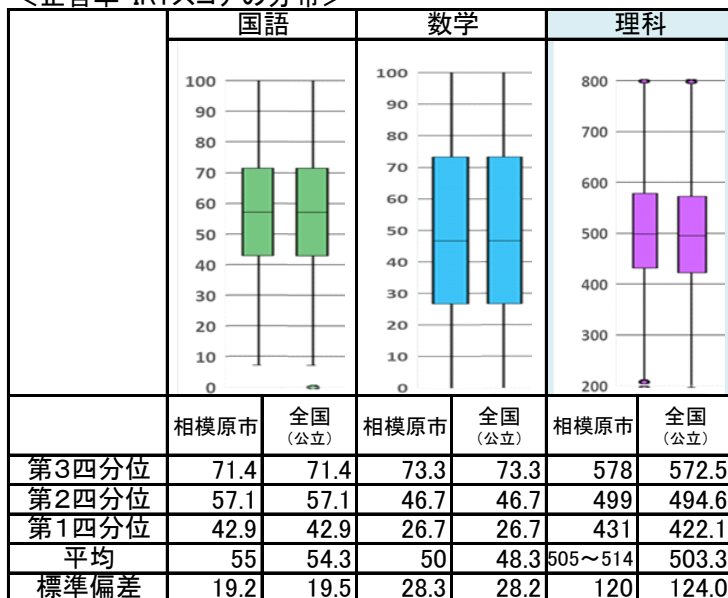
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

07_相模原市(全国)



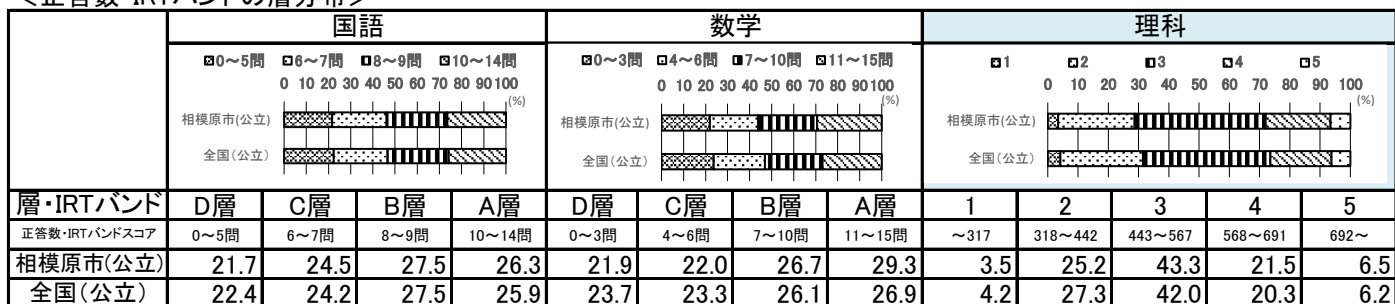
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



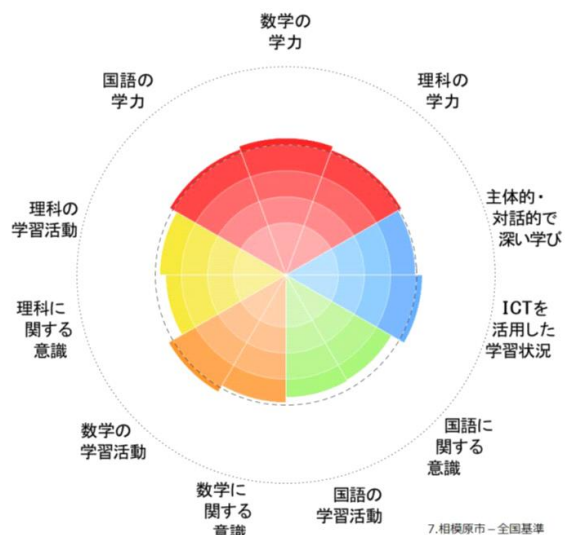
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

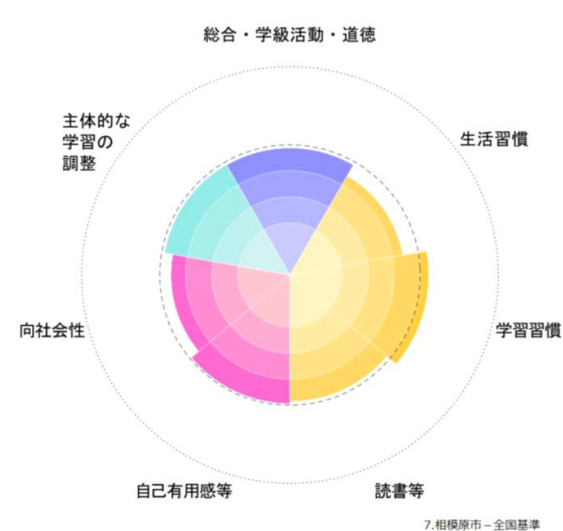


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

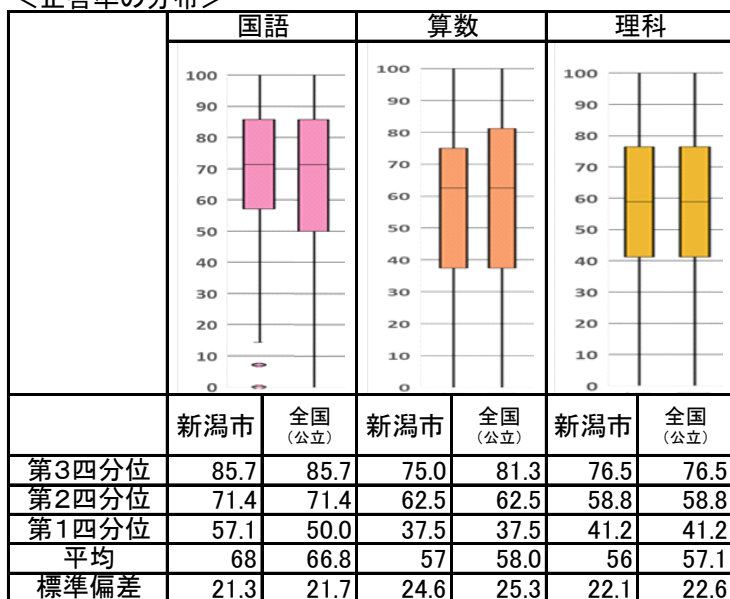
- ・小学校においては、「算数に関する意識」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「主体的な学習の調整」や「算数の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「生活習慣」や「向社会性」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

8.新潟市

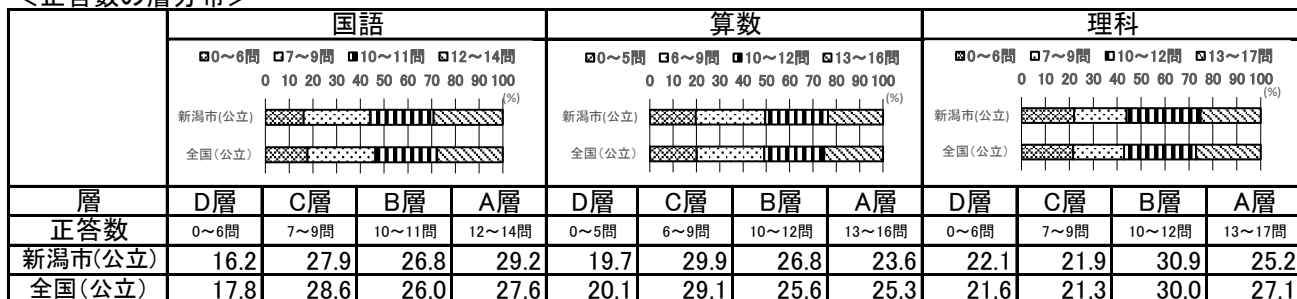
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



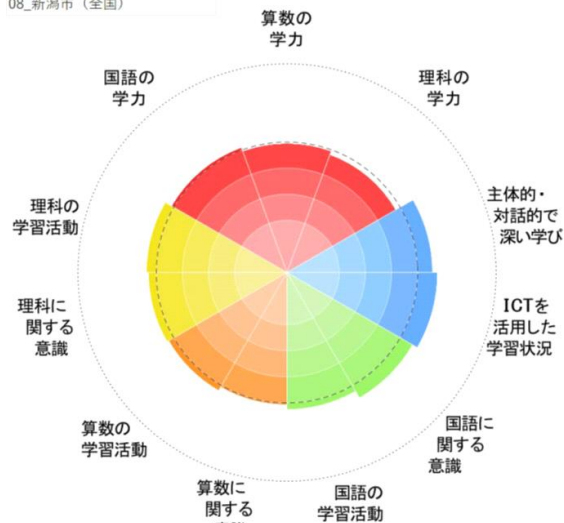
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

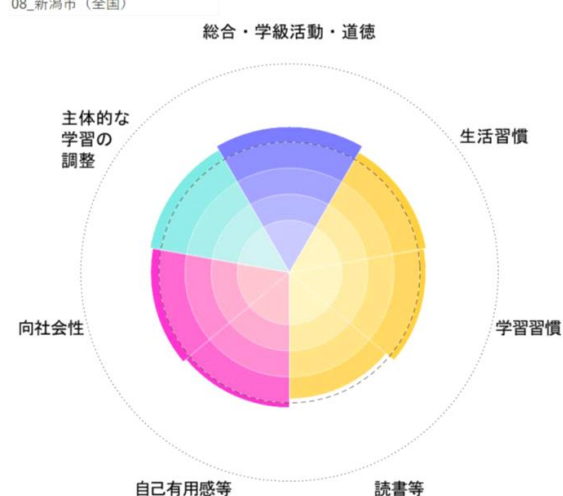
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

08_新潟市(全国)



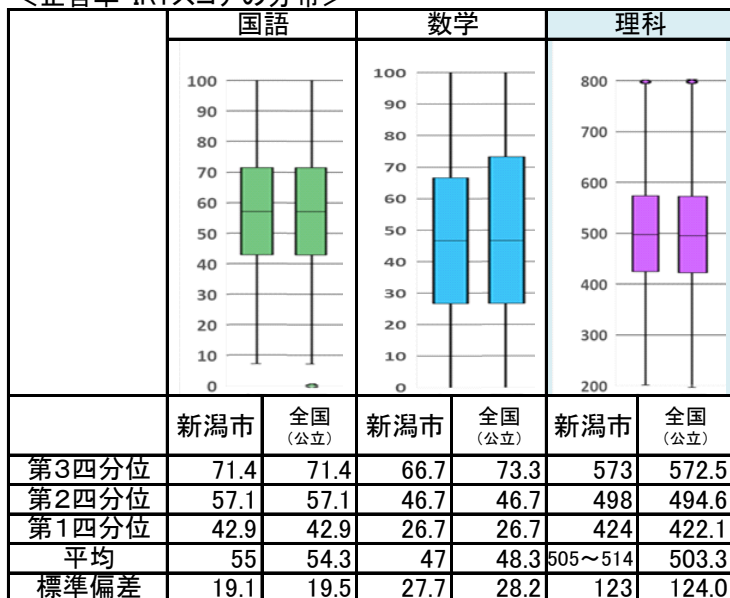
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

08_新潟市(全国)



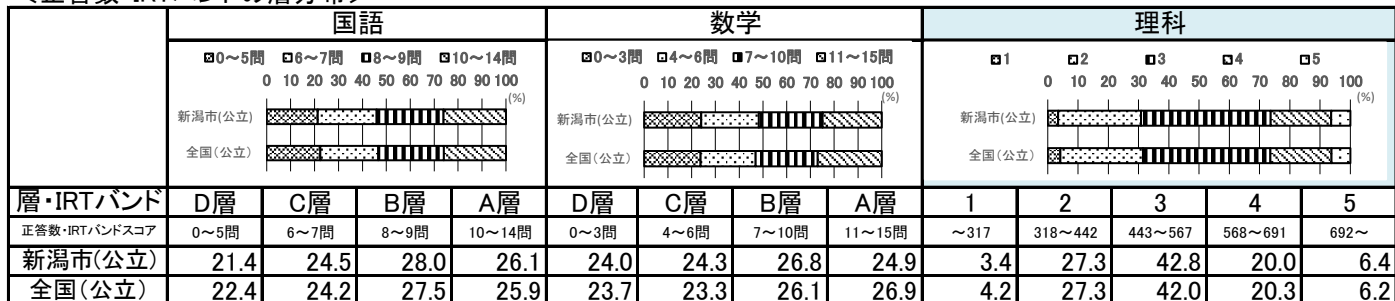
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



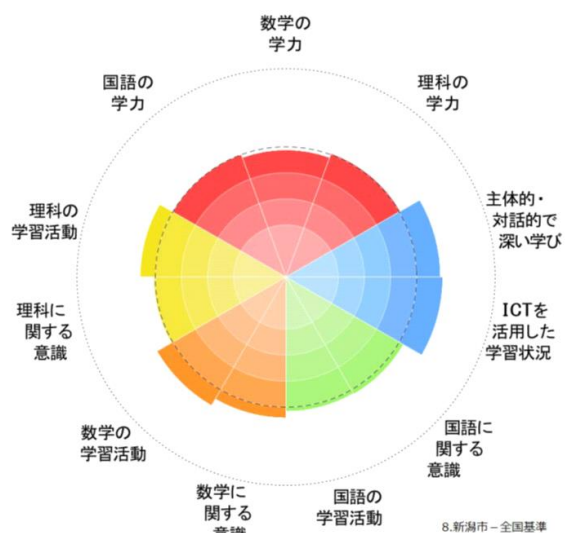
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

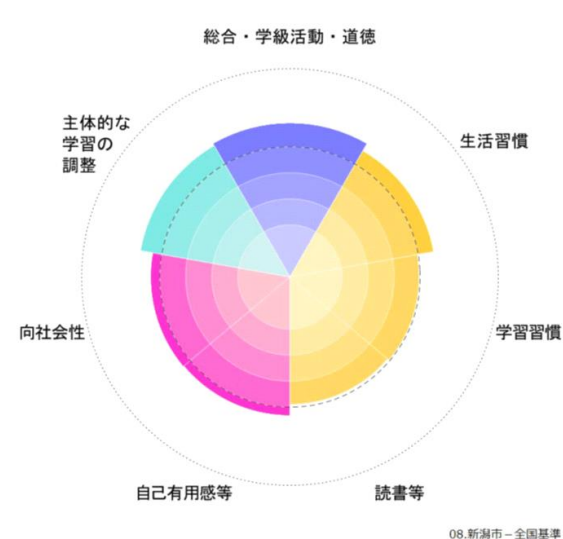


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

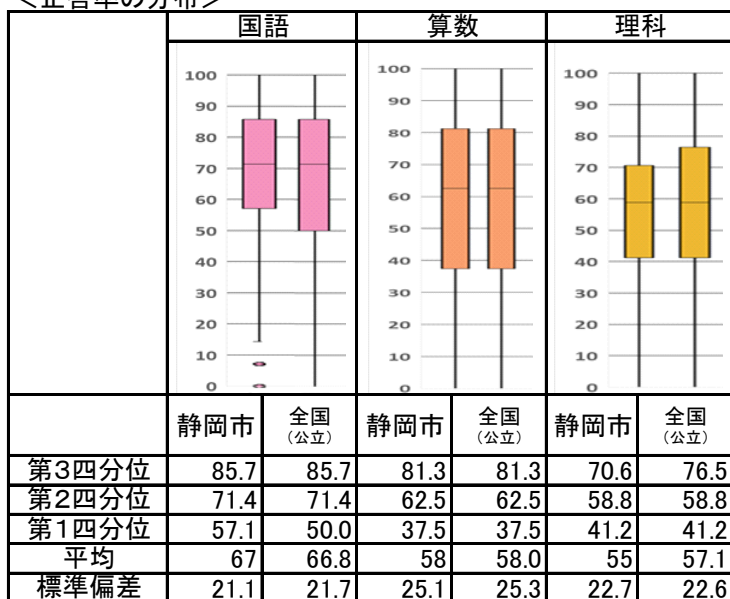
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「読書等」や「算数に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている(なお、「算数に関する意識」は、全国平均より高い)。
- ・中学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「学習習慣」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

9. 静岡市

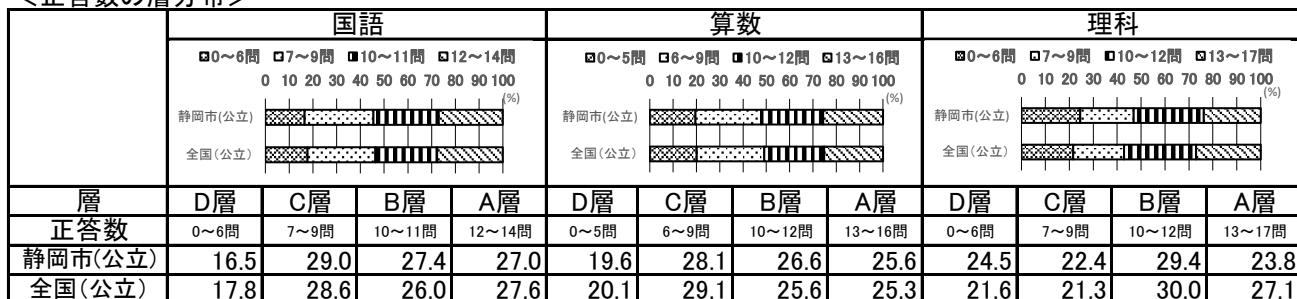
【1】教科調査・質問調査の結果

① 小学校

＜正答率の分布＞



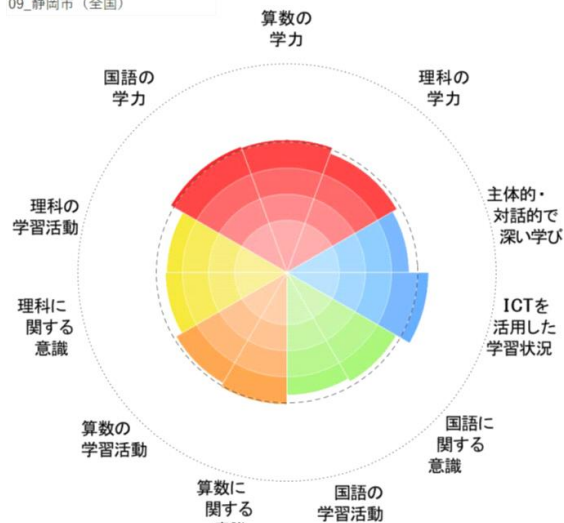
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

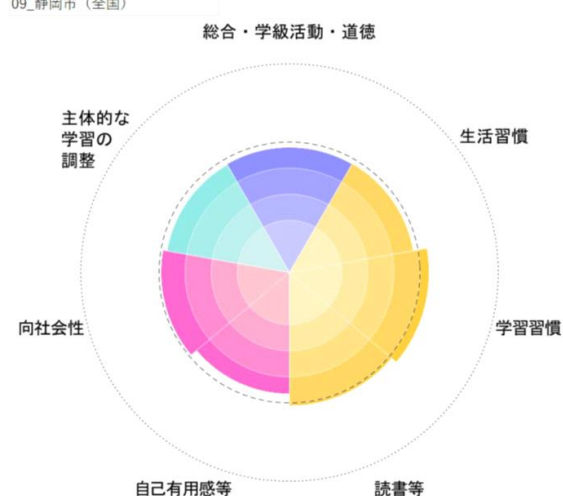
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

09_静岡市(全国)



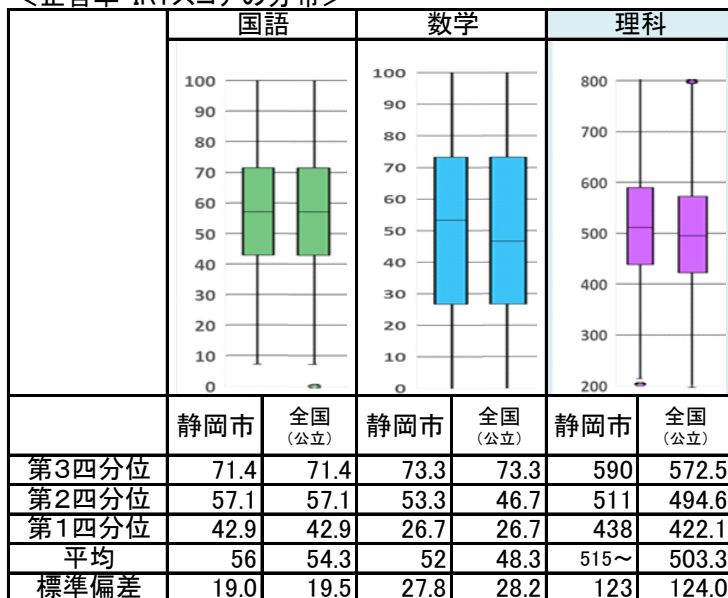
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

09_静岡市(全国)



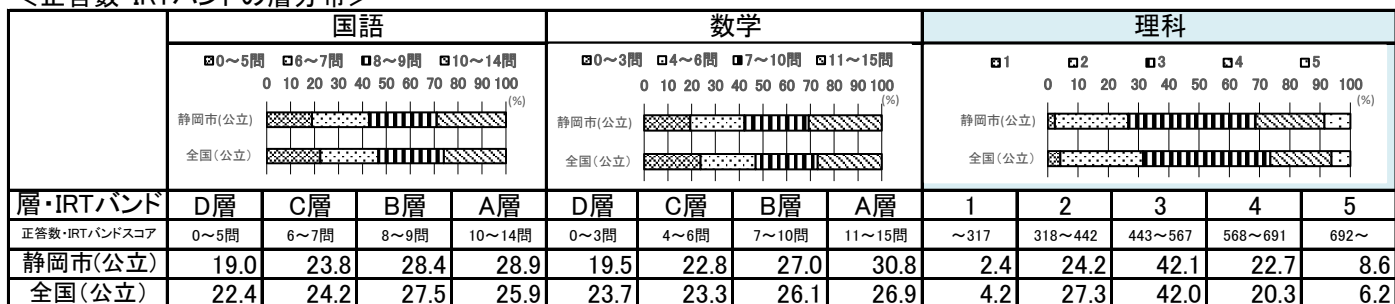
②中学校

＜正答率・IRTスコアの分布＞



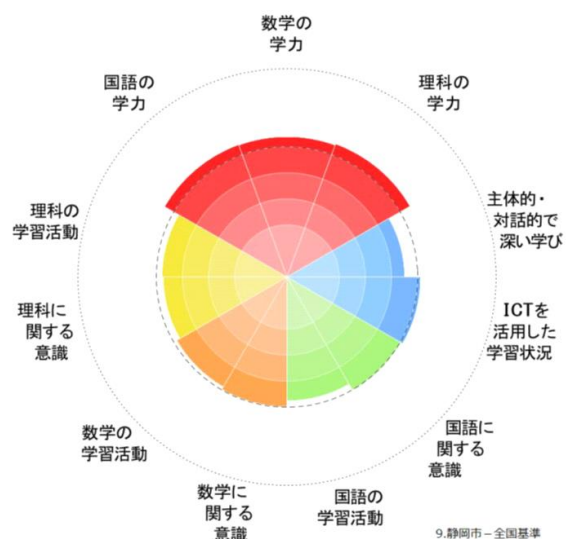
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

＜正答数・IRTバンドの層分布＞

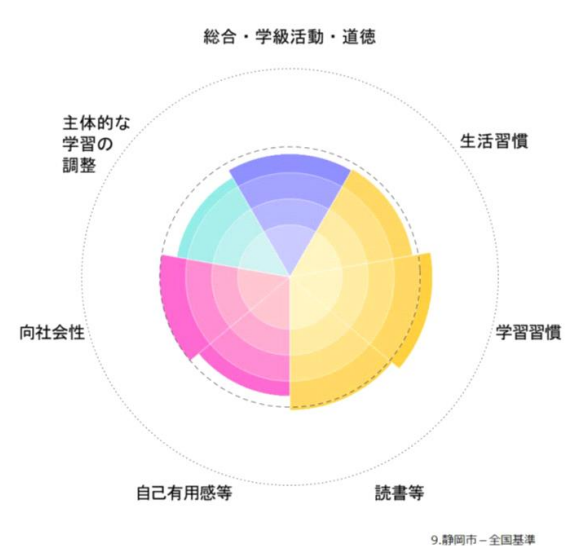


＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

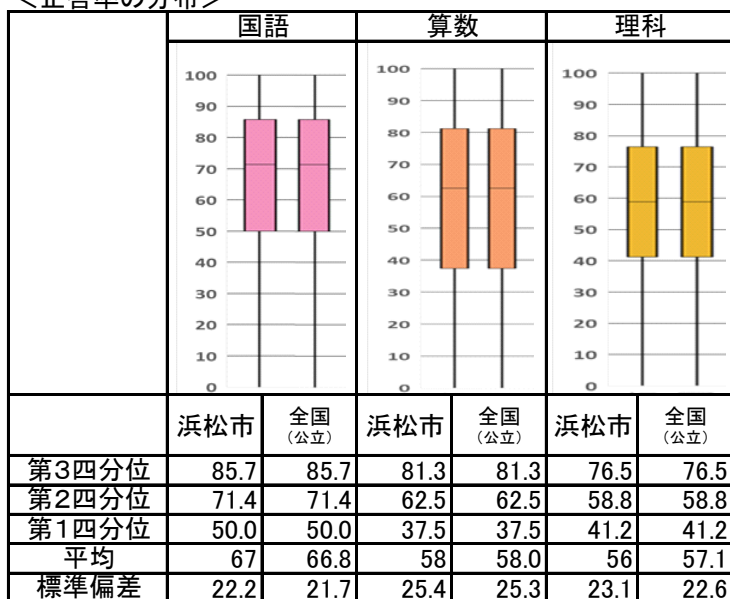
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「自己有用感等」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても高い)。また、「主体的な学習の調整」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

10.浜松市

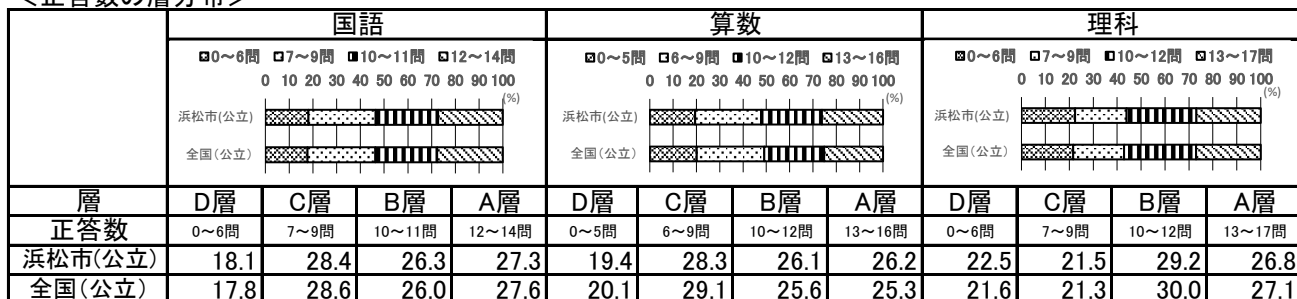
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



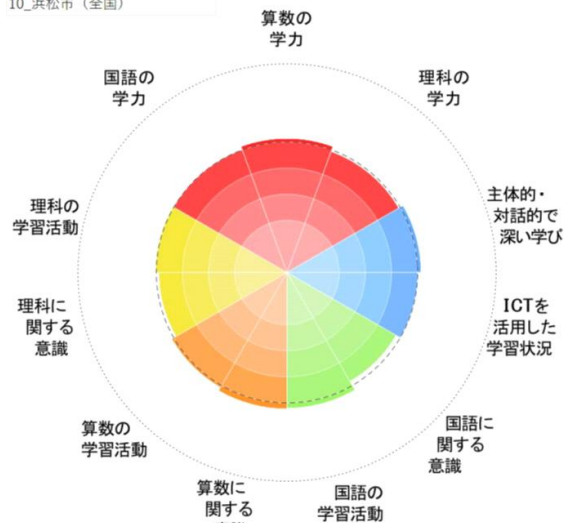
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

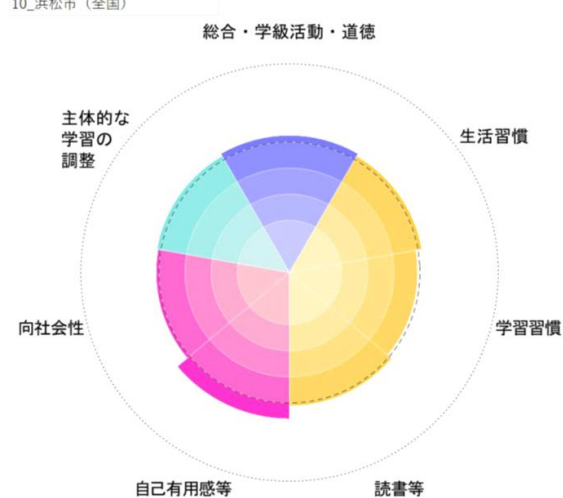
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

10_浜松市(全国)



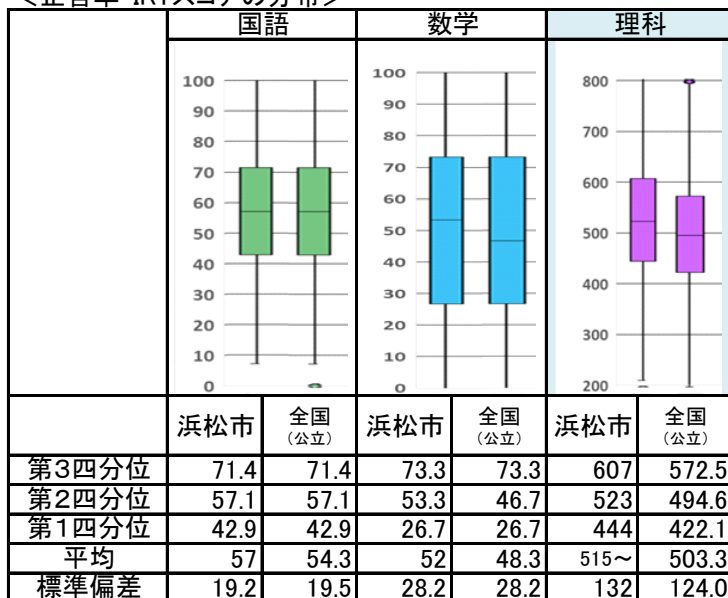
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

10_浜松市(全国)



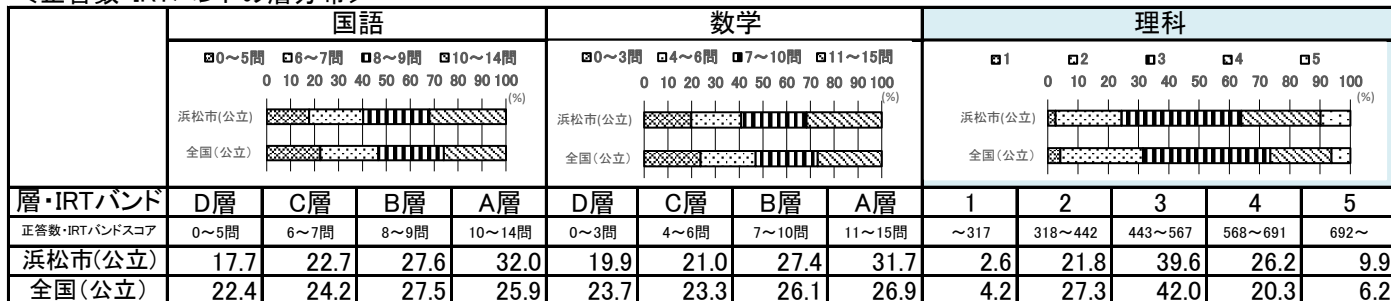
②中学校

＜正答率・IRTスコアの分布＞



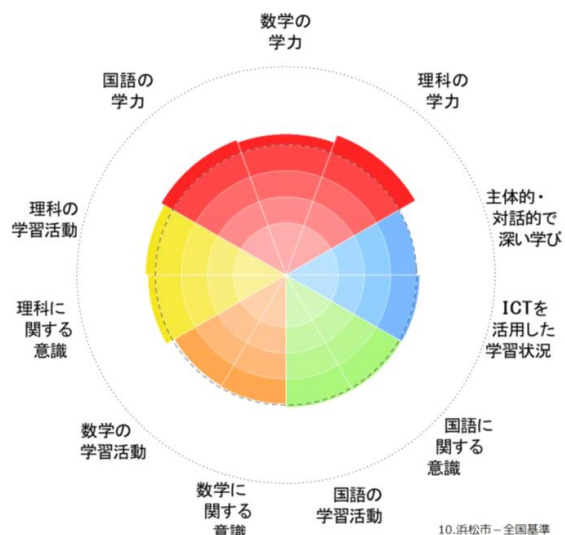
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

＜正答数・IRTバンドの層分布＞

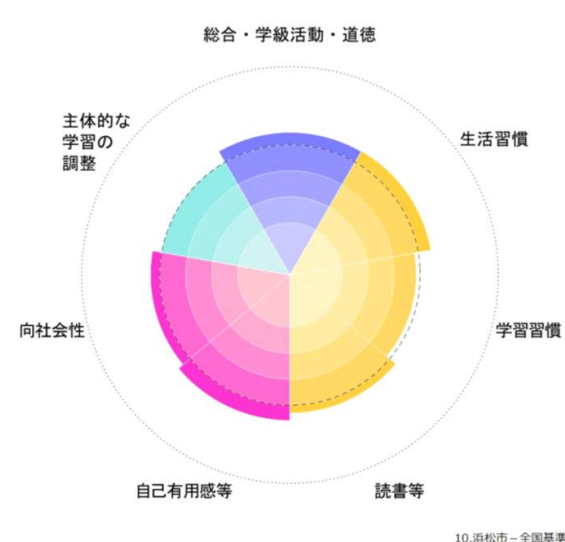


＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

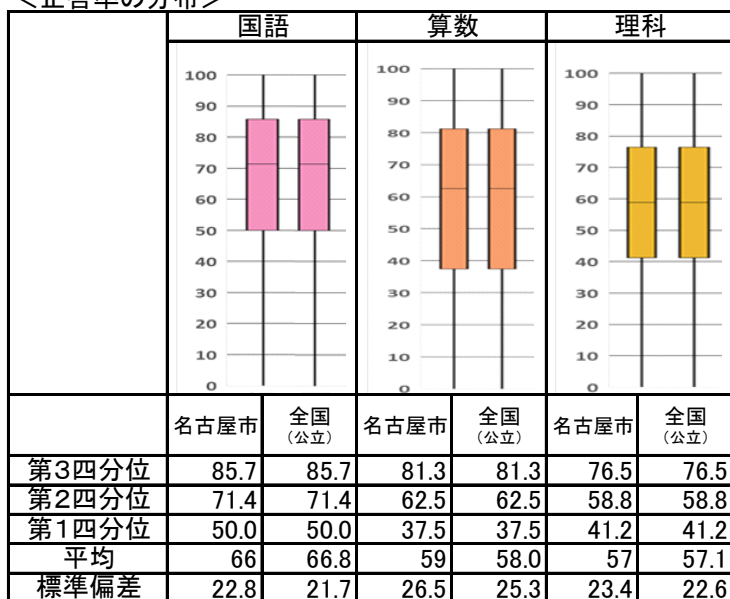
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「自己有用感等」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「自己有用感等」は、全国と比較しても高い)。また、「国語に関する意識」や「学習習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「自己有用感等」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、高い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても高い)。また、「学習習慣」や「数学に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

11.名古屋市

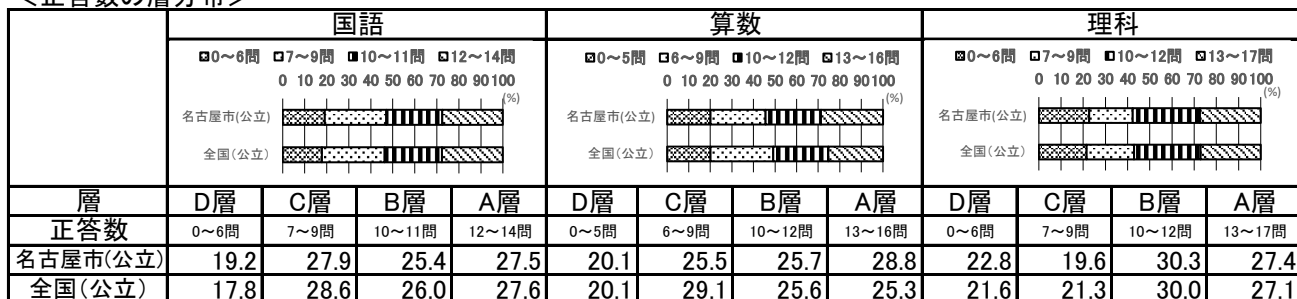
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



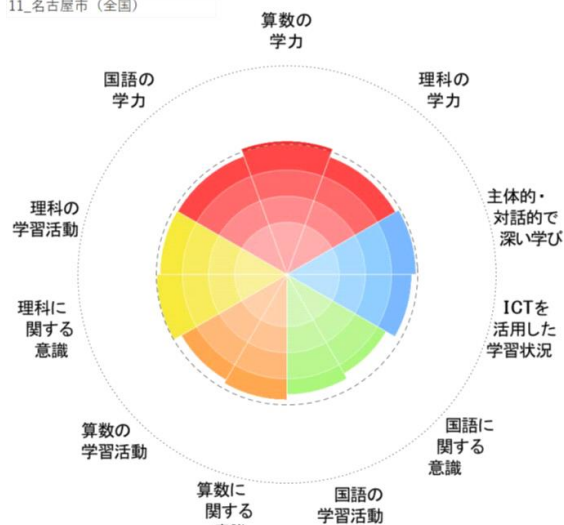
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

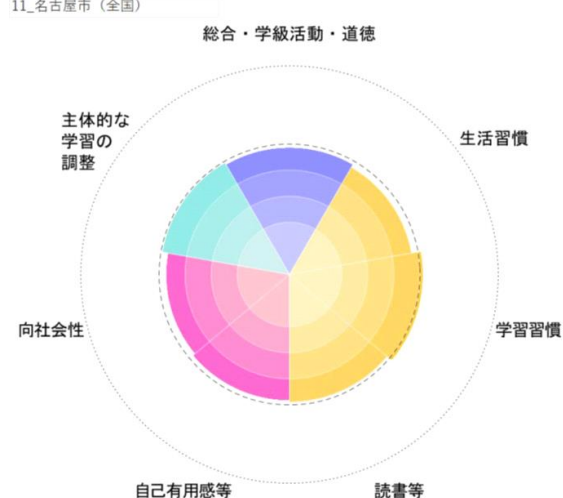
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

11_名古屋市(全国)



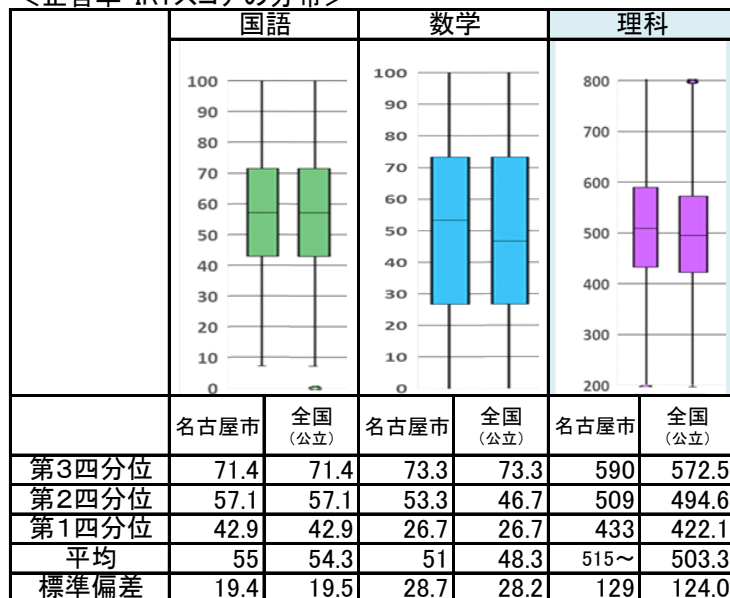
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

11_名古屋市(全国)



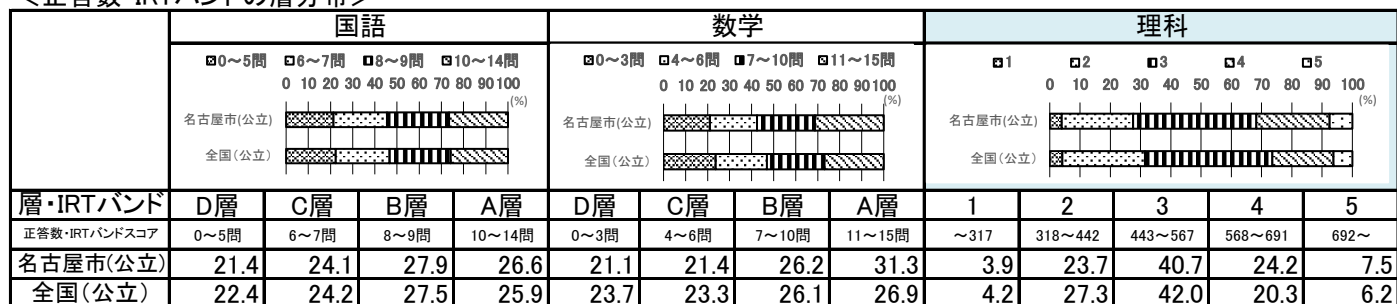
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



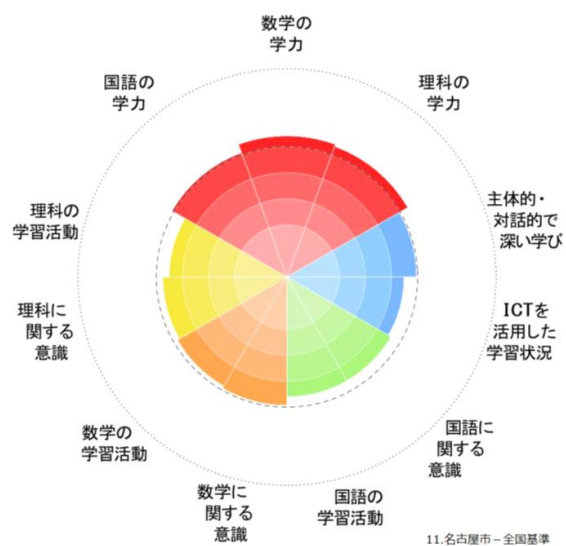
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

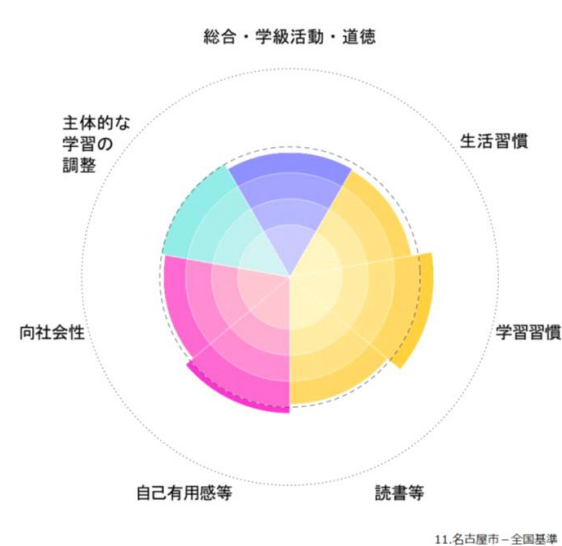


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

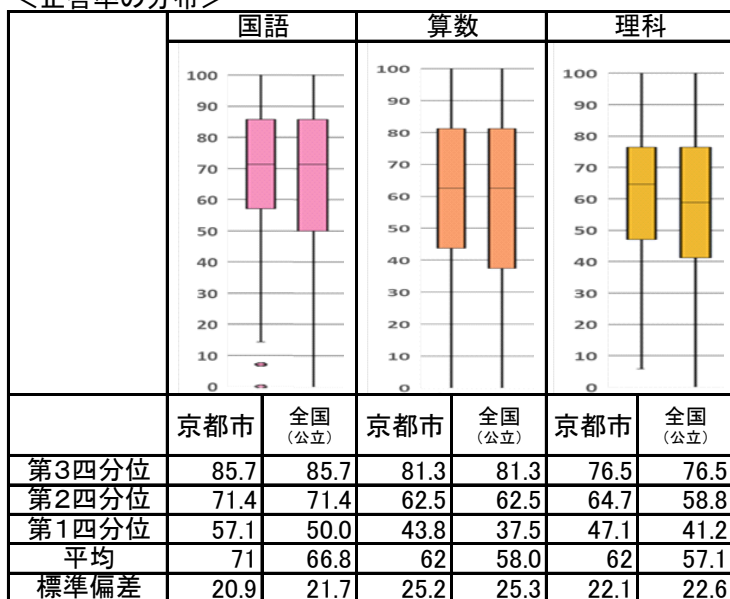
- ・小学校においては、「学習習慣」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「国語に関する意識」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「国語に関する意識」は、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「自己有用感等」領域のスコアについて、高い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても高い)。また、「ICTを活用した学習状況」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

12.京都市

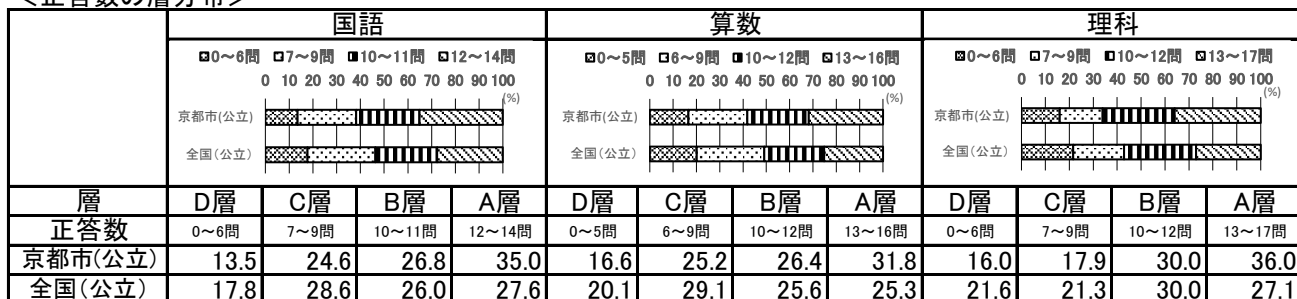
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



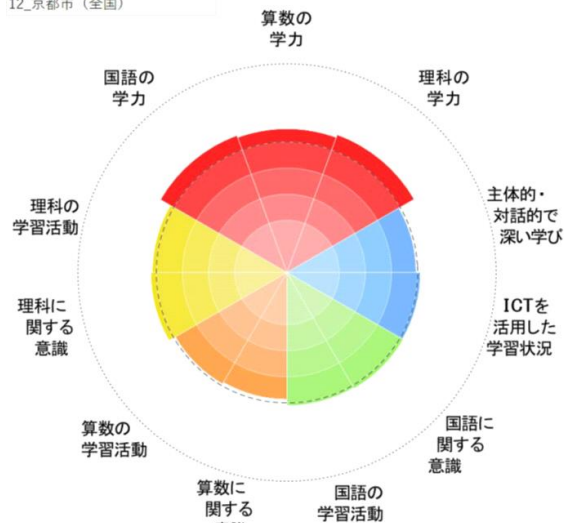
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

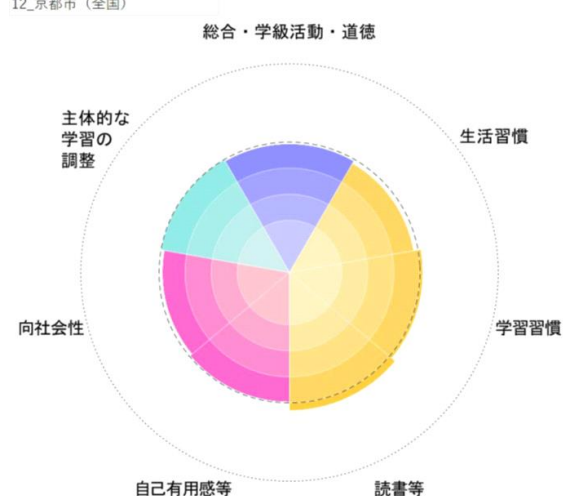
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

12_京都市(全国)



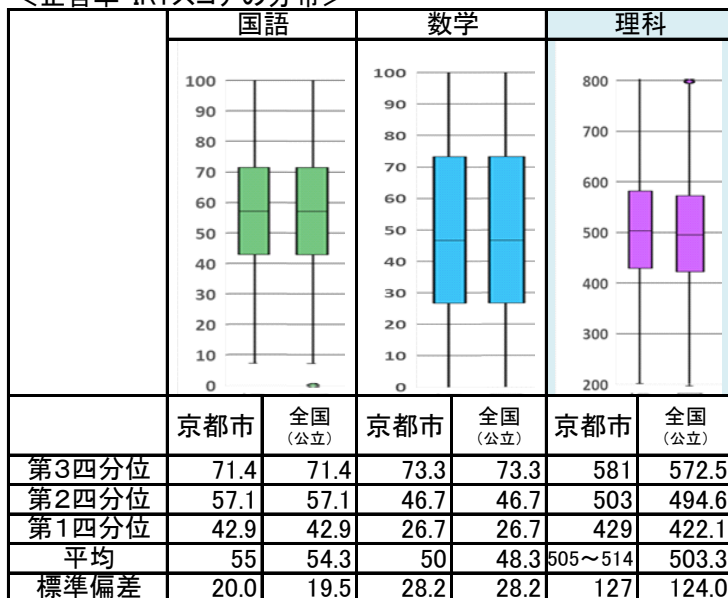
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

12_京都市(全国)



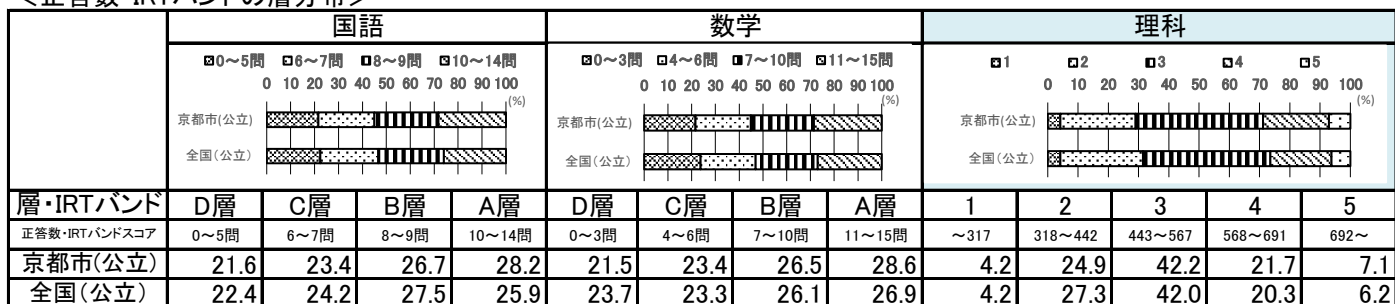
②中学校

＜正答率・IRTスコアの分布＞



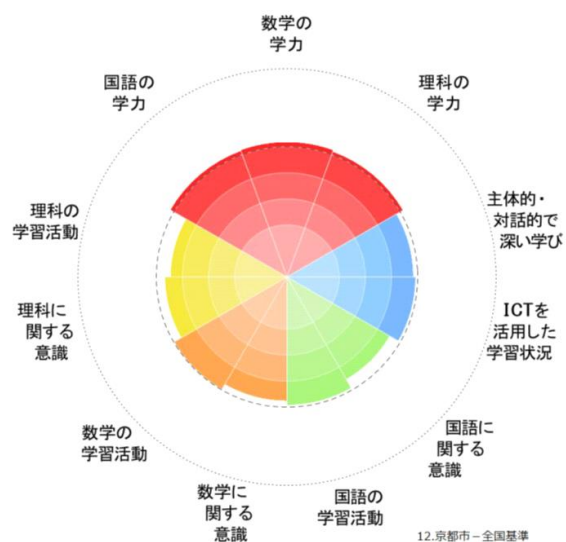
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

＜正答数・IRTバンドの層分布＞

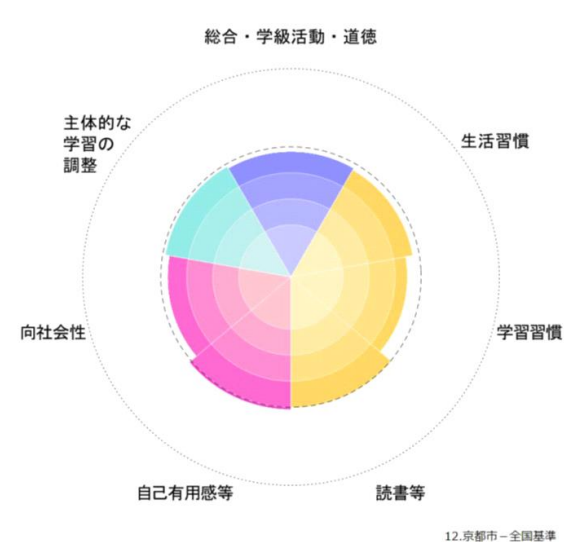


＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

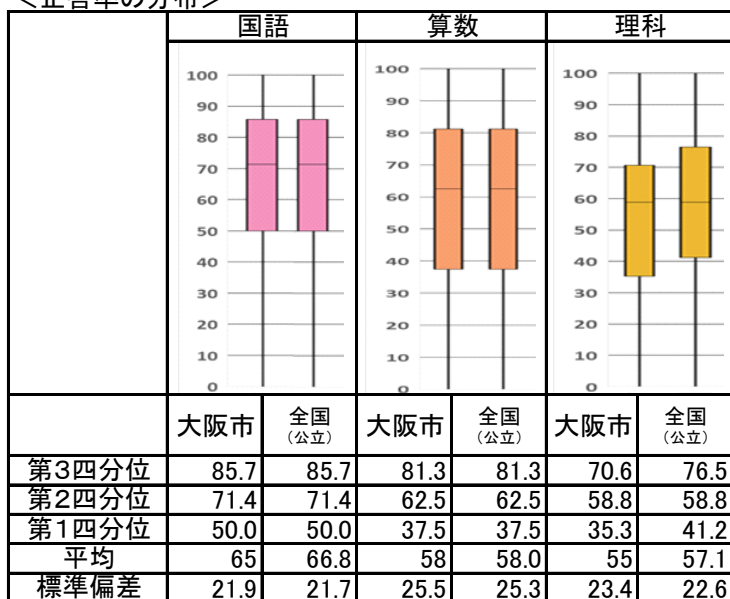
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「読書等」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「生活習慣」や「算数に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「自己有用感等」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「理科の学習活動」や「学習習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

13.大阪市

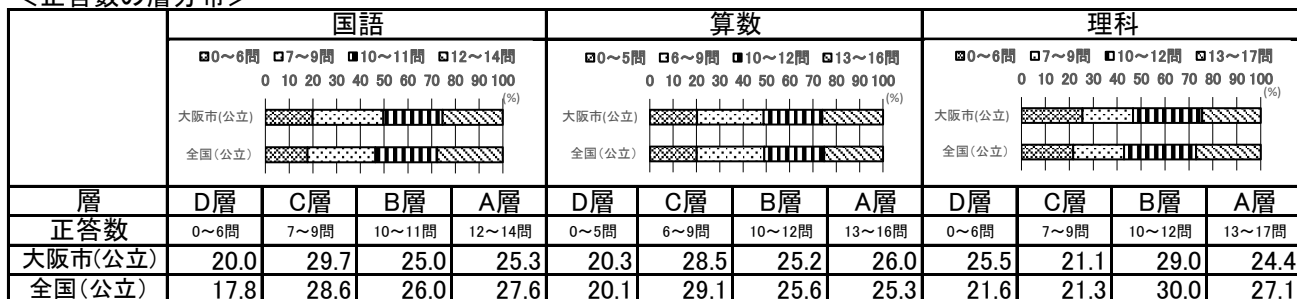
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



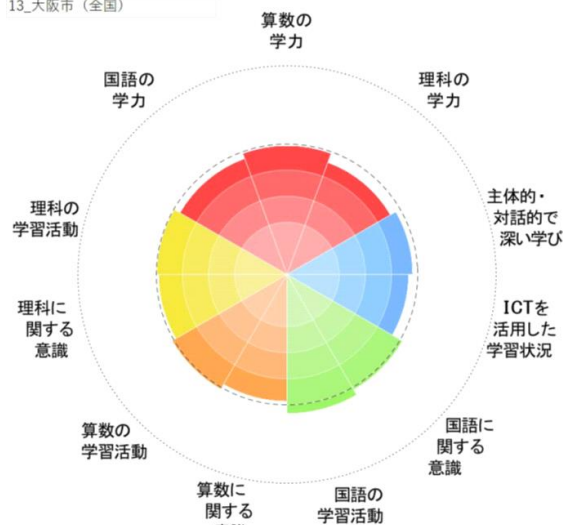
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

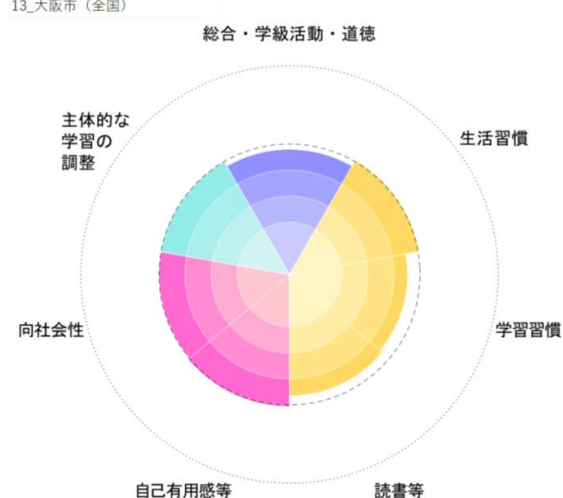
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

13_大阪市(全国)



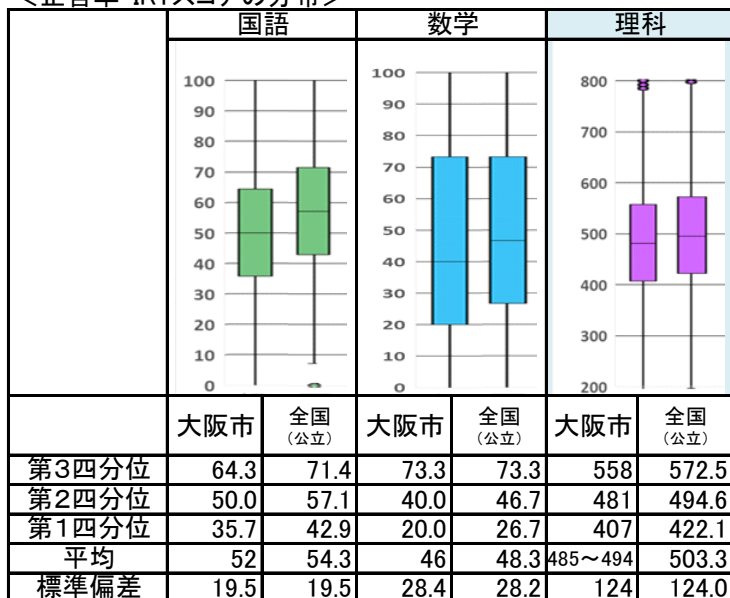
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

13_大阪市(全国)



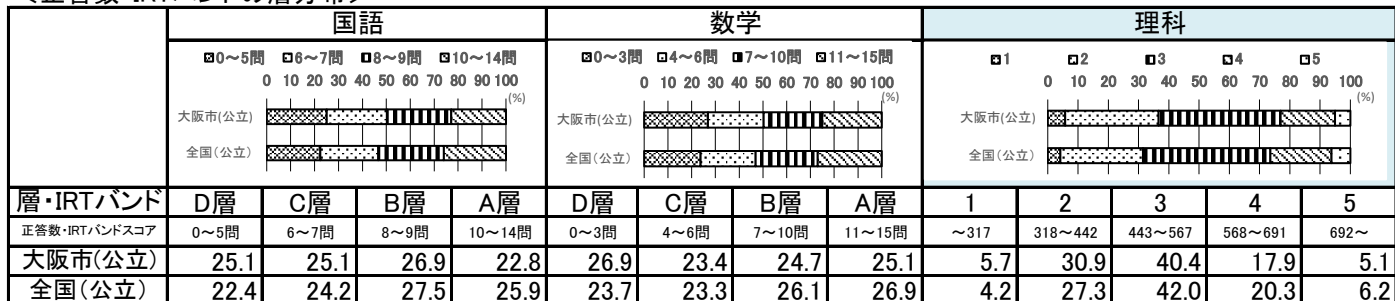
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



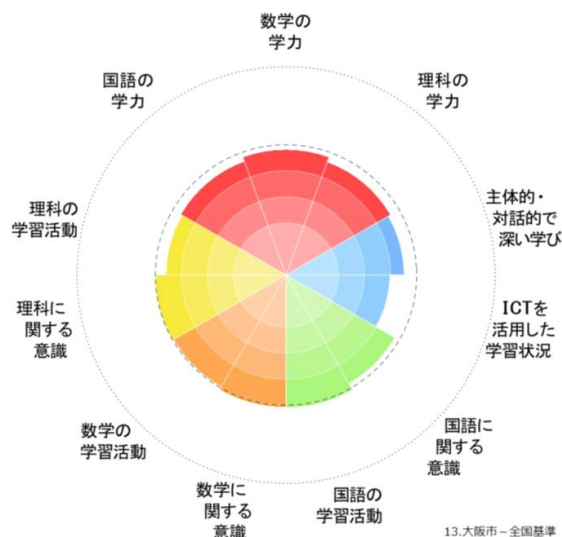
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

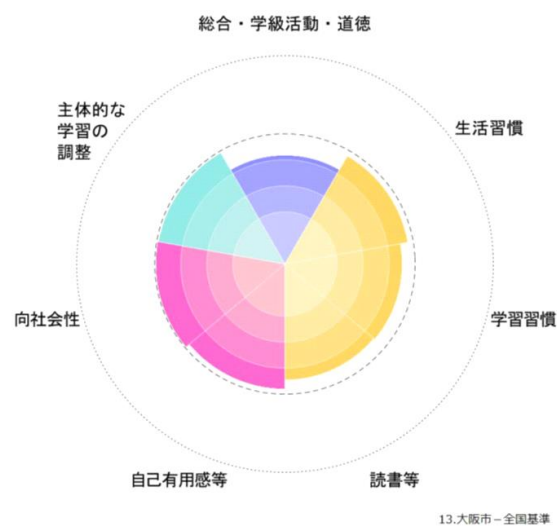


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

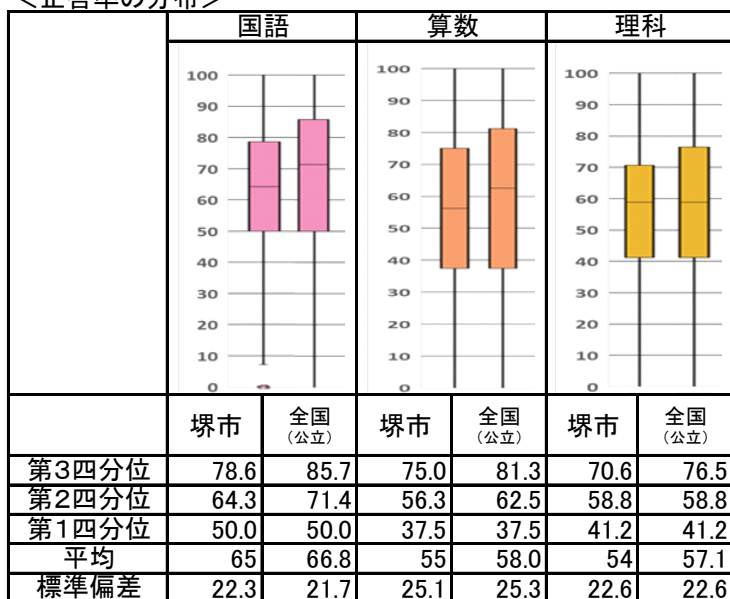
- ・小学校においては、「国語の学習活動」や「国語に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「国語の学習活動」や「数学に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「ICTを活用した学習状況」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

14.堺市

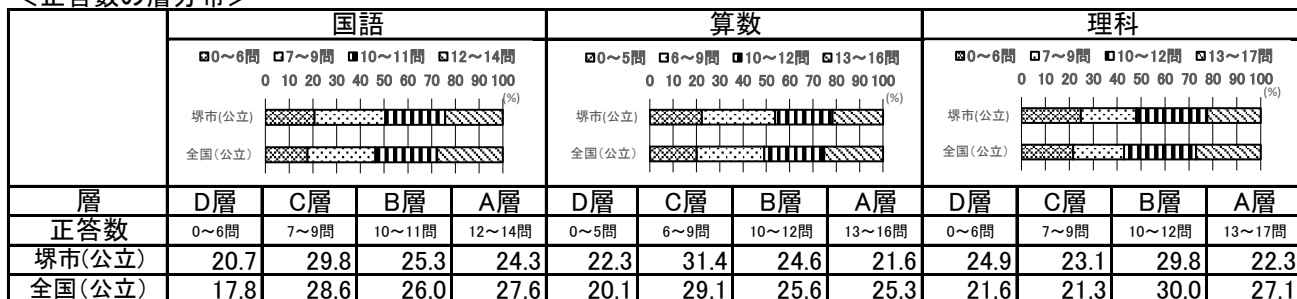
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



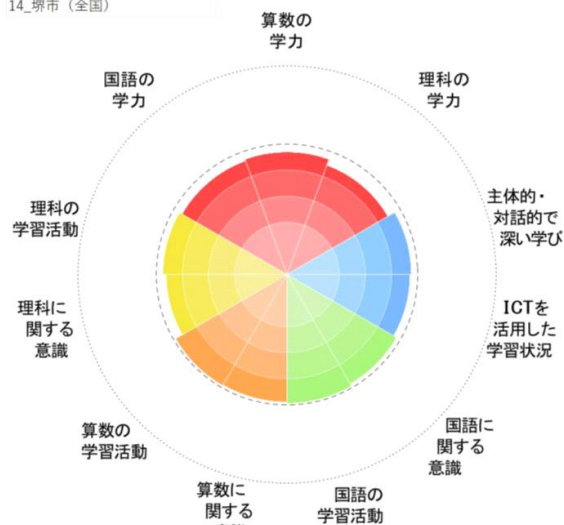
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

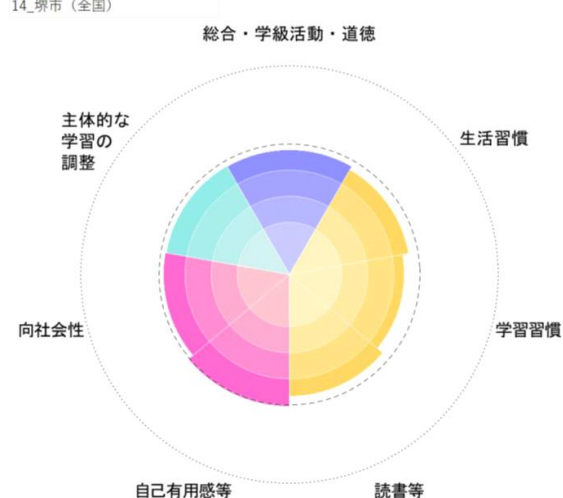
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

14_堺市(全国)



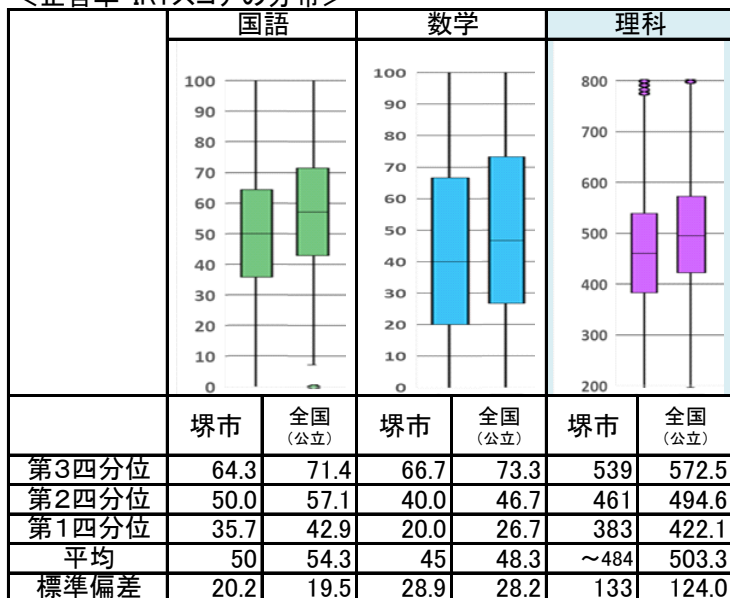
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

14_堺市(全国)



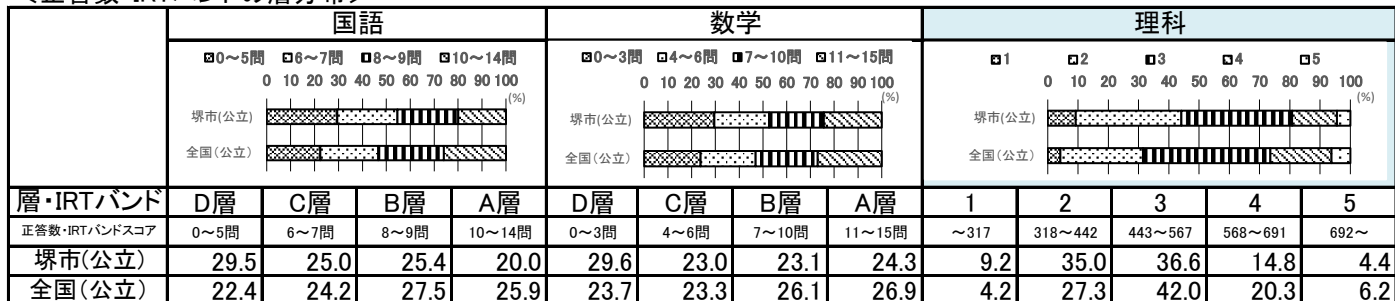
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



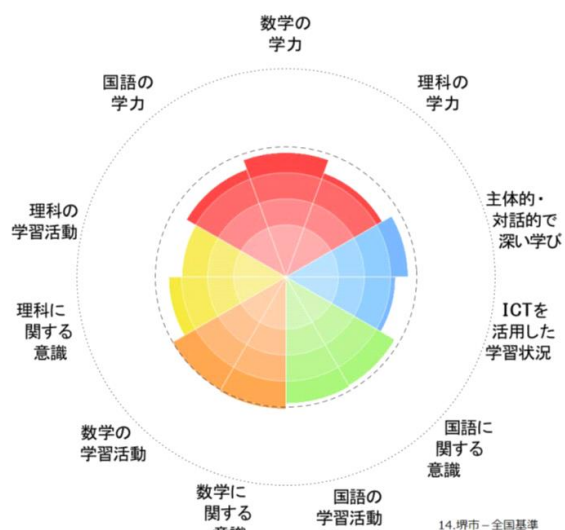
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

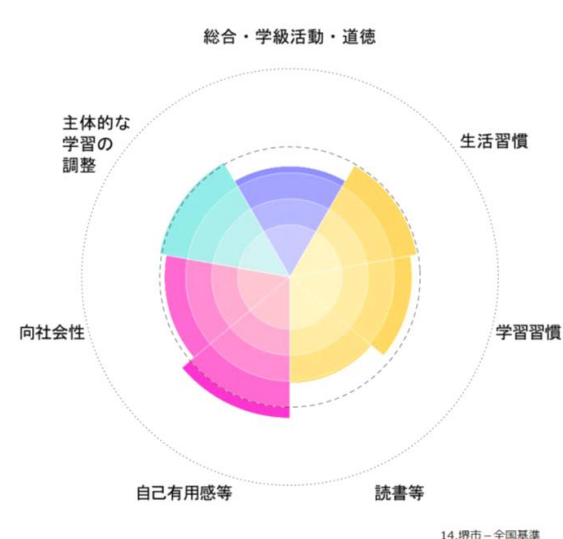


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

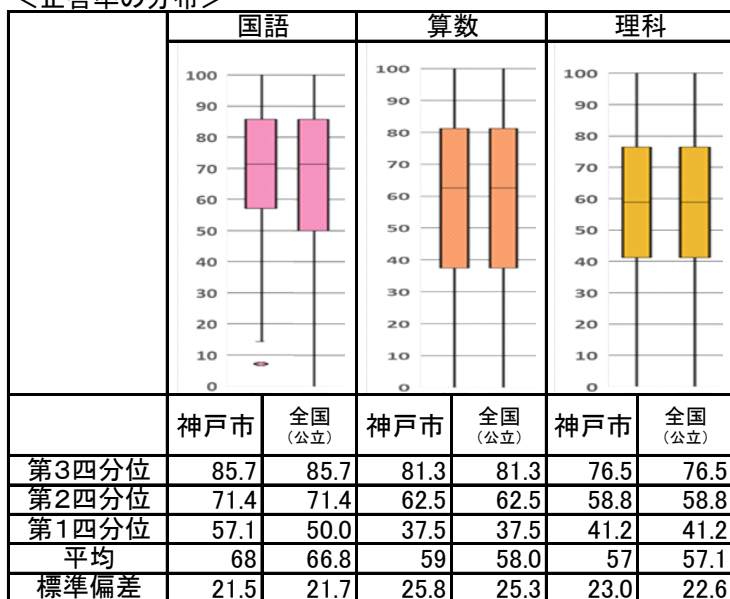
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・中学校理科について、バンド1の割合が全国と比較して2倍以上となっている。他の教科については、全国と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「自己有用感等」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「自己有用感等」や「主体的な学習の調整」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「理科の学習活動」や「読書等」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

15.神戸市

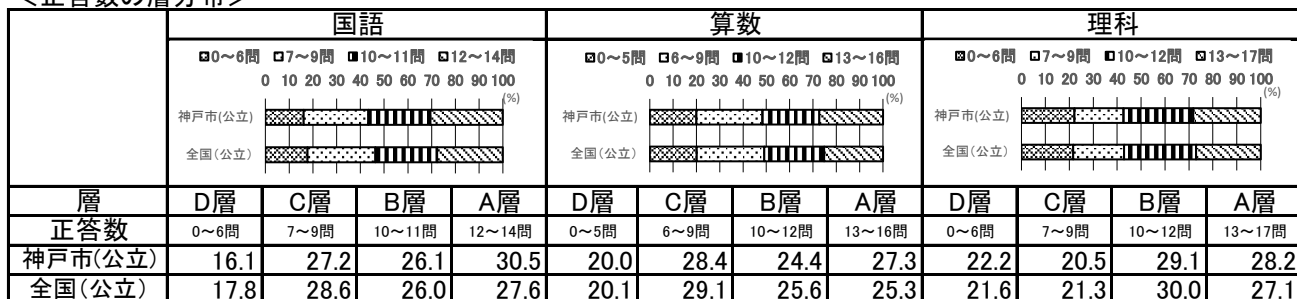
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



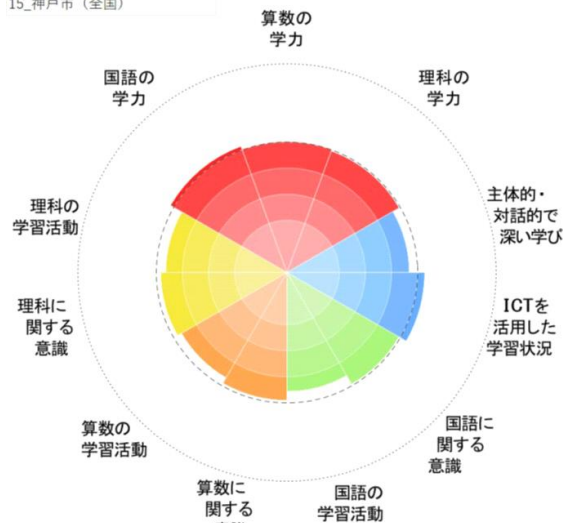
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

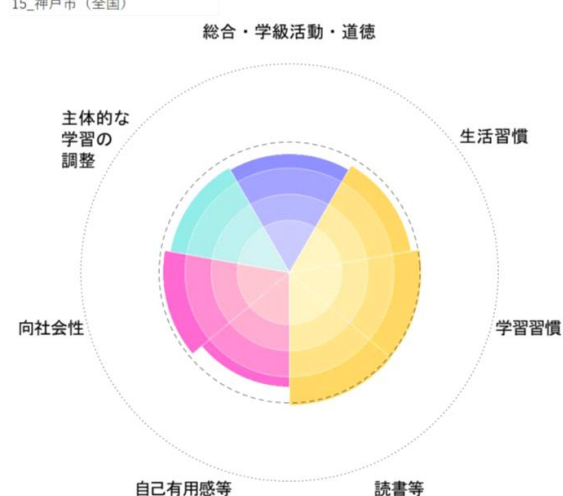
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

15_神戸市(全国)



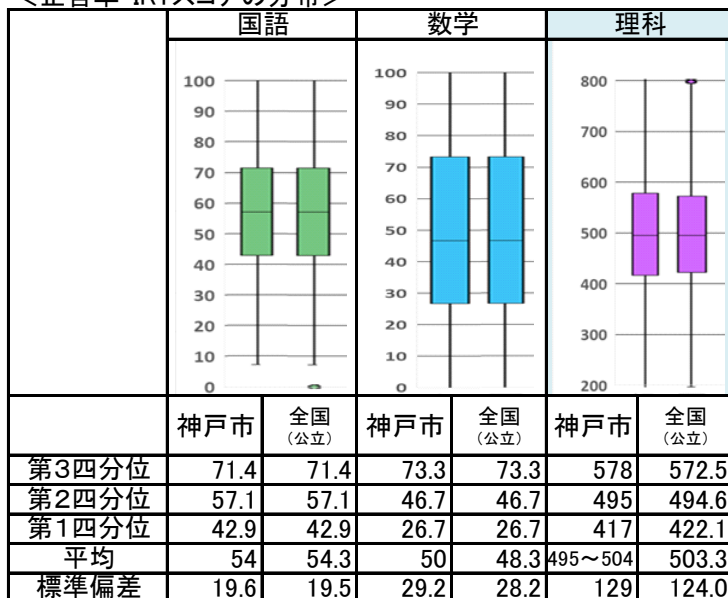
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

15_神戸市(全国)



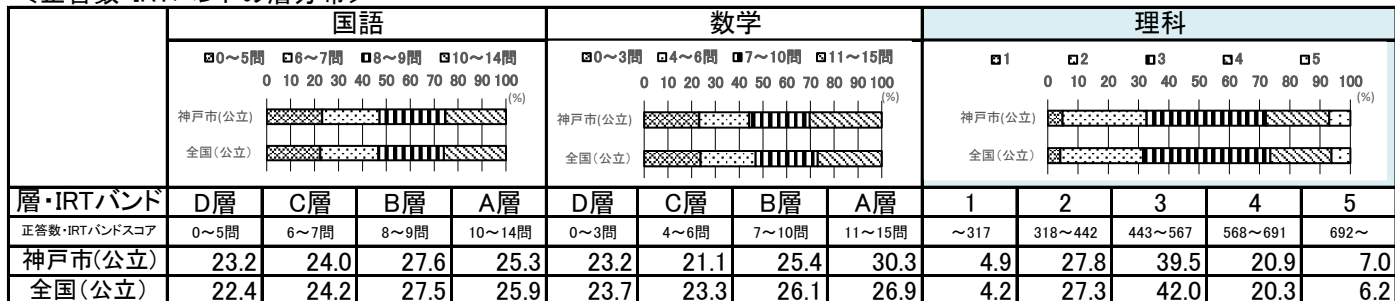
②中学校

＜正答率・IRTスコアの分布＞



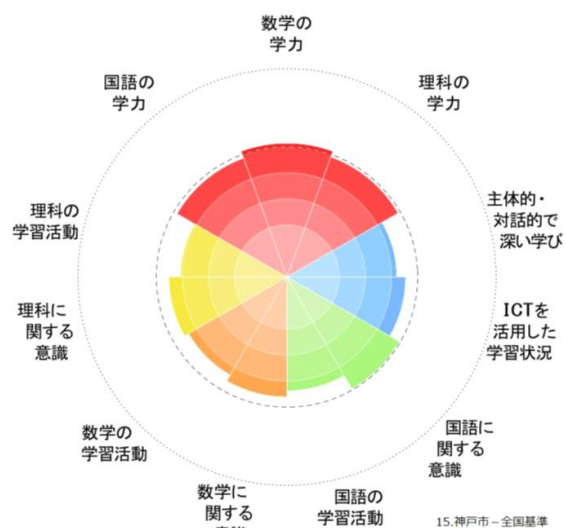
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

＜正答数・IRTバンドの層分布＞

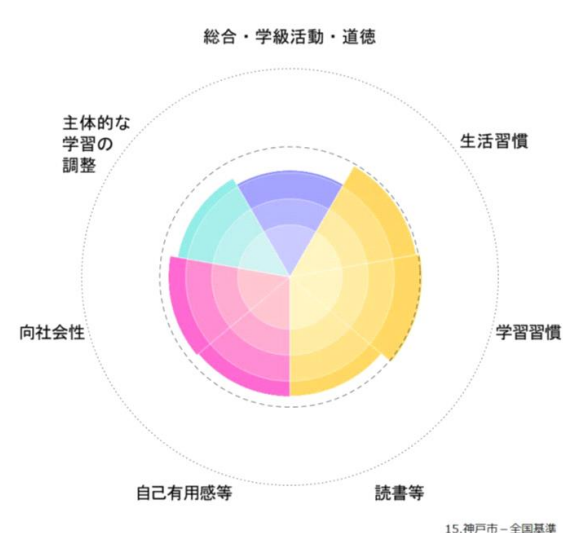


＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

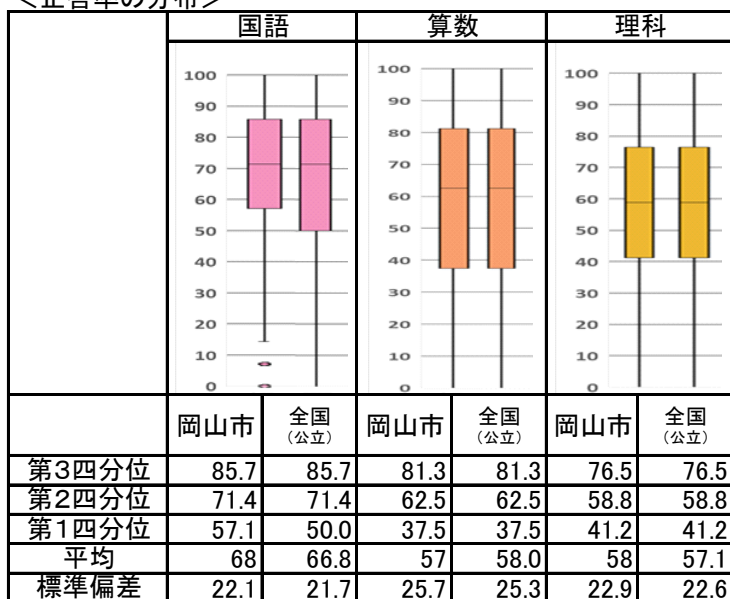
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「自己有用感等」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「学習習慣」や「生活習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「総合・学級活動・道徳」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

16.岡山市

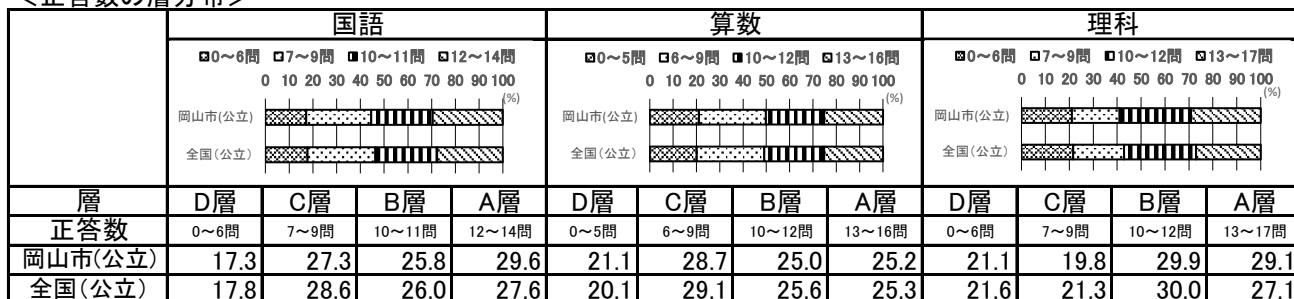
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



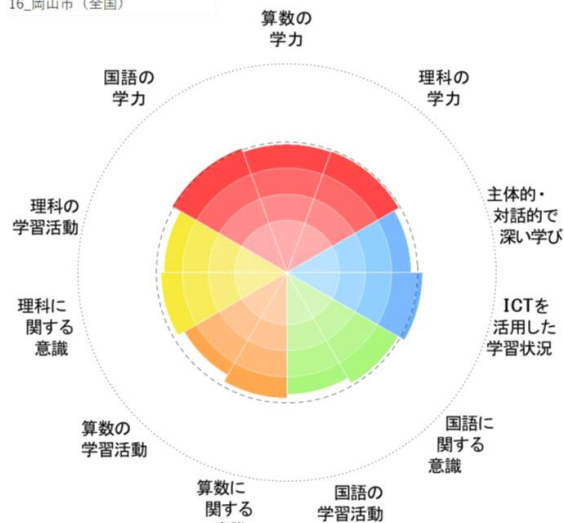
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

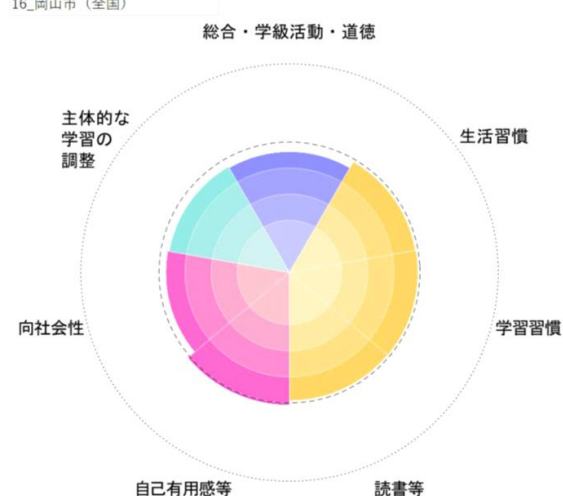
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

16_岡山市(全国)



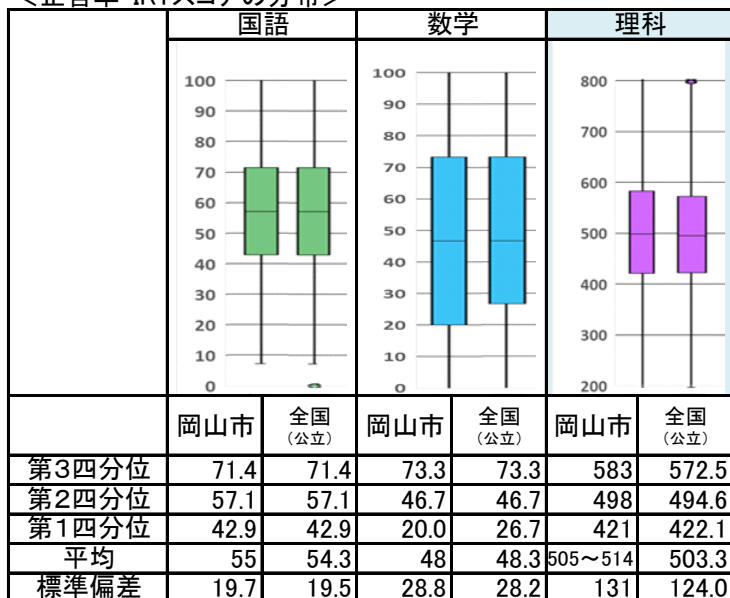
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

16_岡山市(全国)



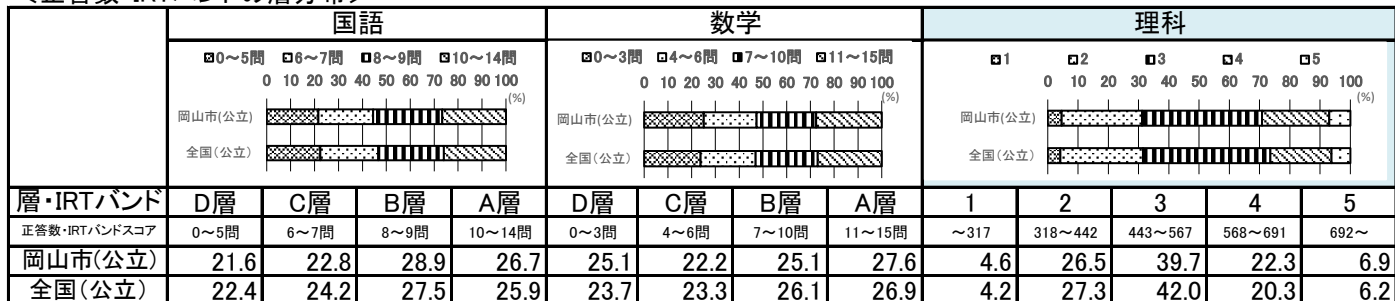
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



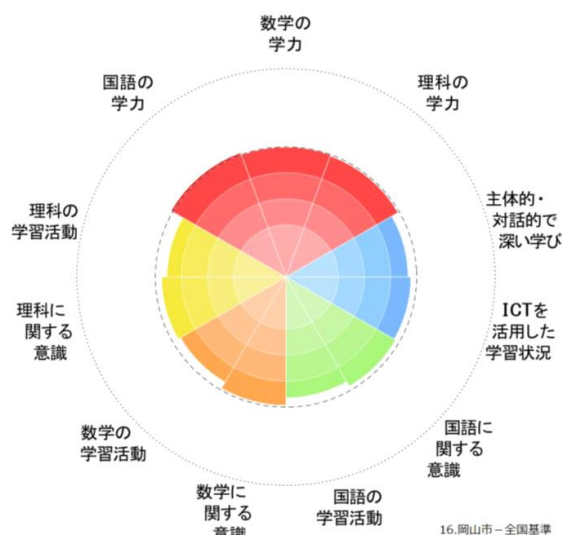
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>



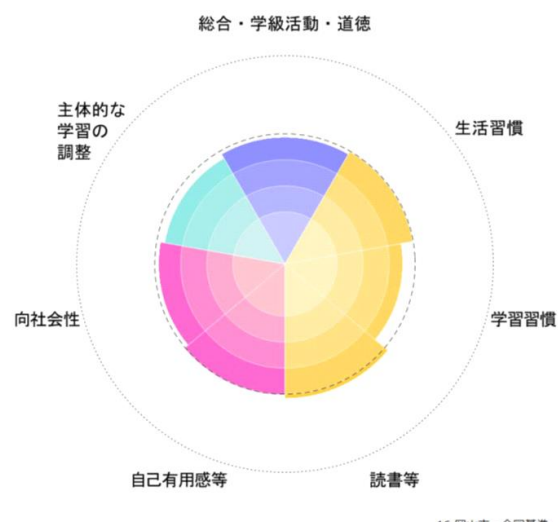
<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



16.岡山市-全国基準

【その他の学力・学習状況】(全国基準)



16.岡山市-全国基準

【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつき傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「自己有用感等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「算数の学習活動」や「総合・学級活動・道徳」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「算数の学習活動」は、全国と比較しても低い)。

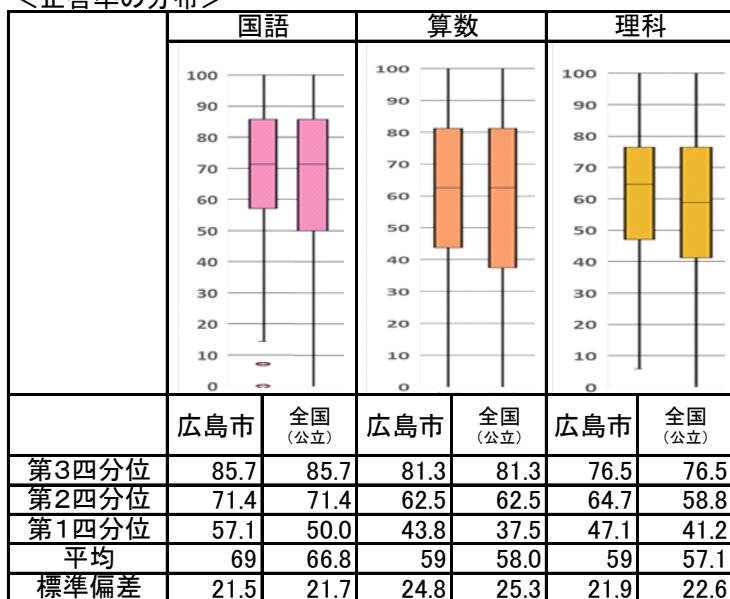
・中学校においては、「読書等」や「自己有用感等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

17.広島市

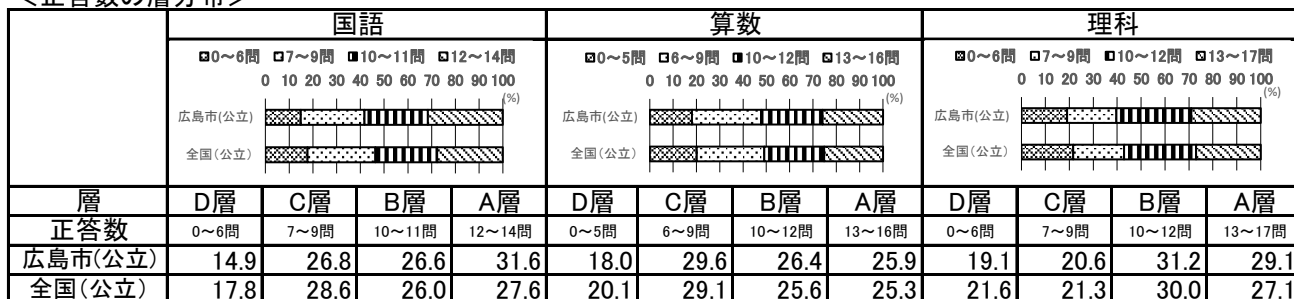
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



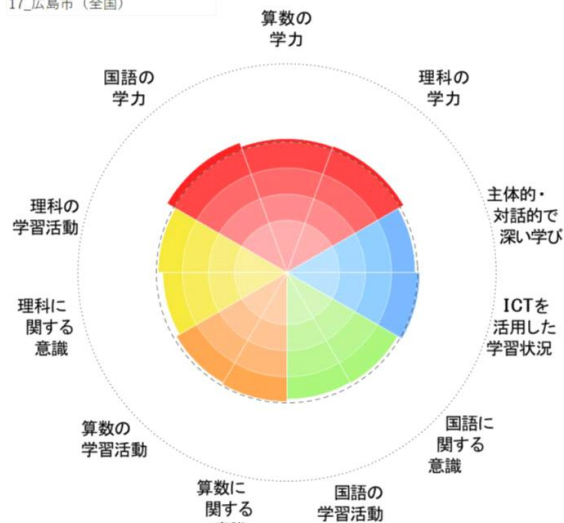
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

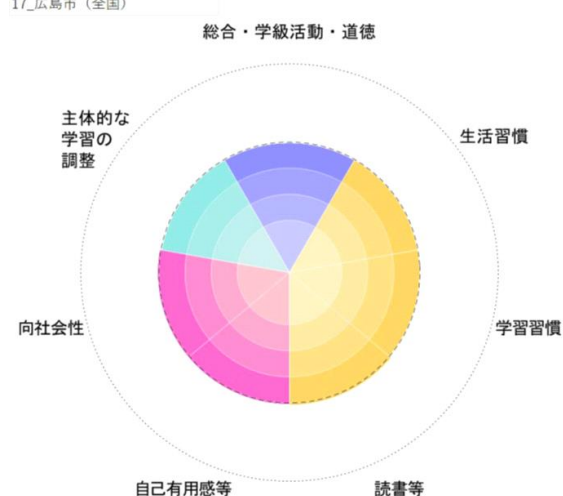
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

17_広島市(全国)



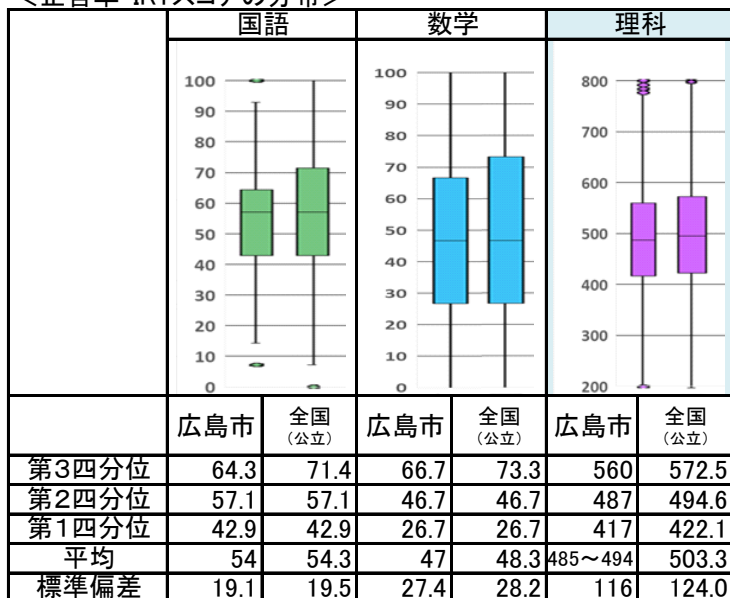
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

17_広島市(全国)



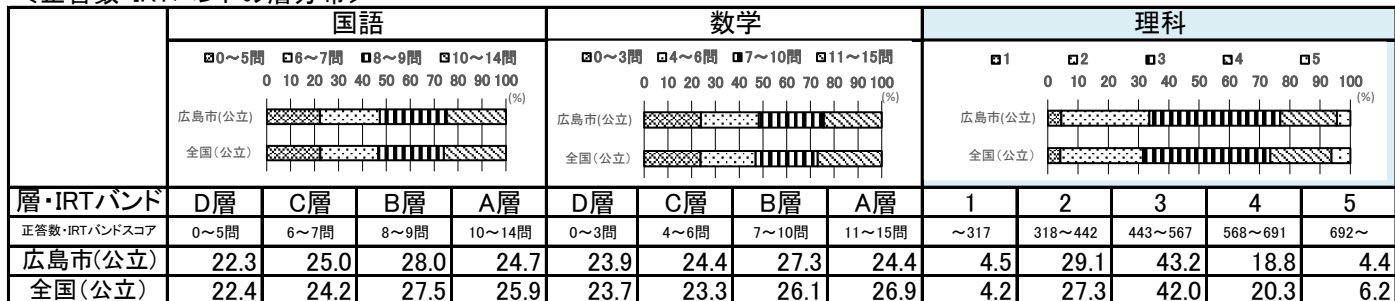
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



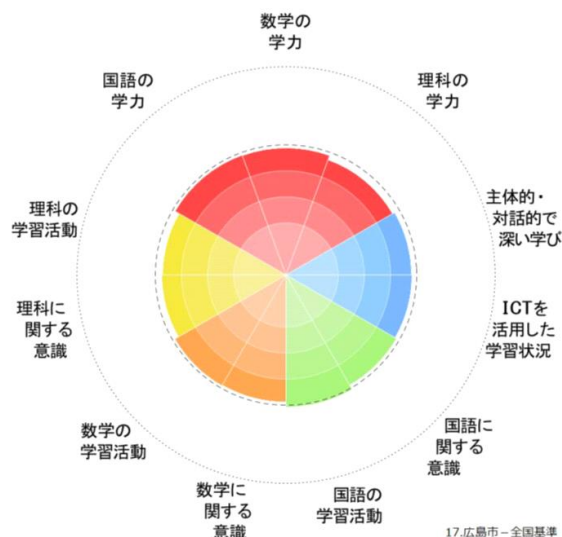
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

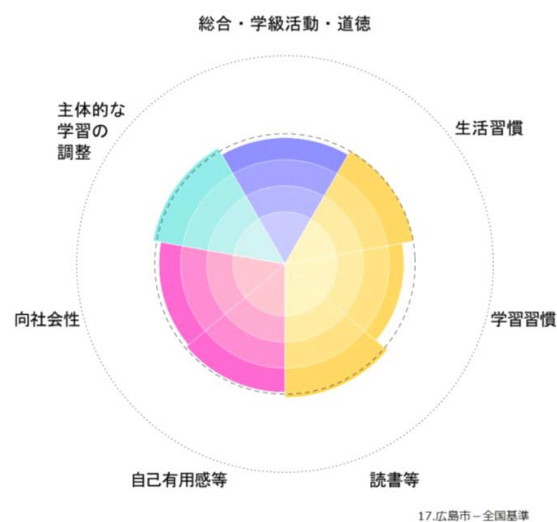


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

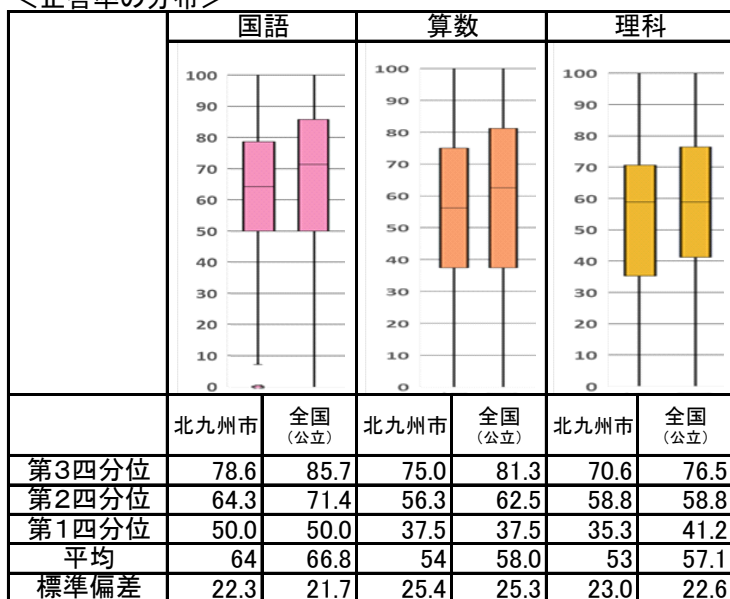
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「理科に関する意識」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「主体的な学習の調整」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても低い)。

18.北九州市

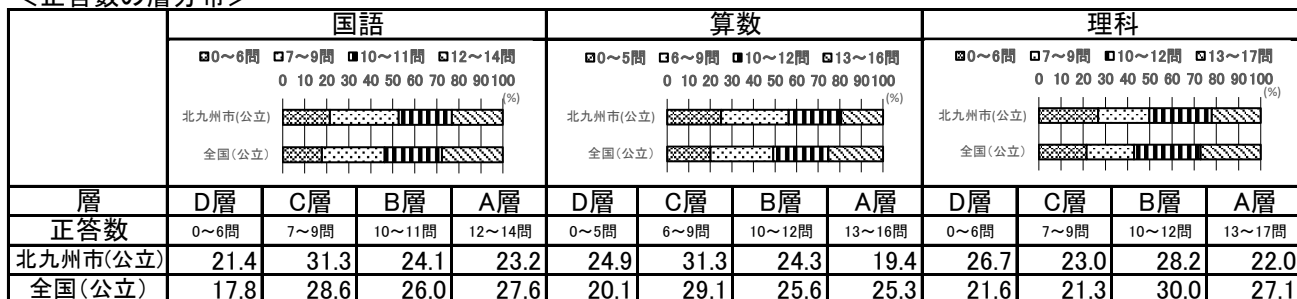
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



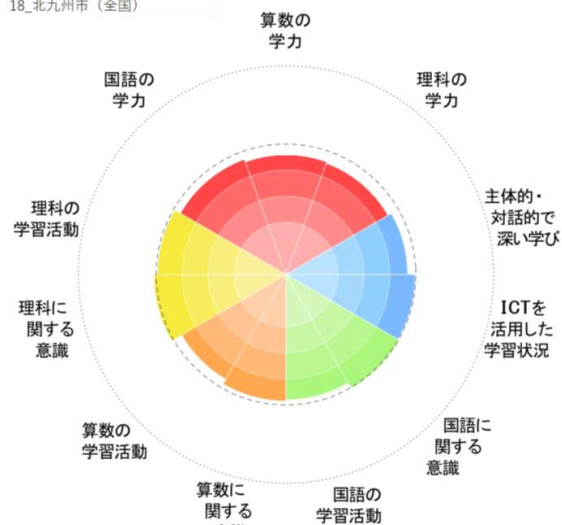
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

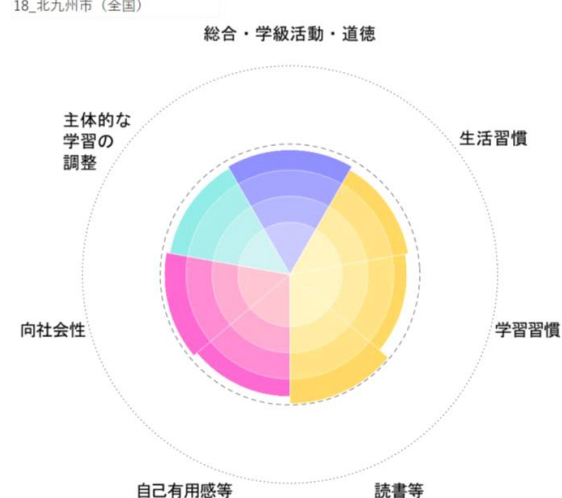
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

18_北九州市(全国)



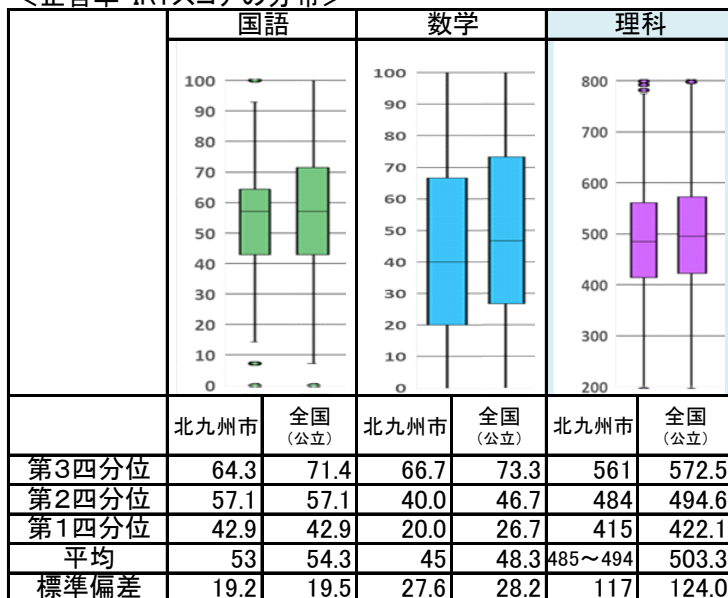
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

18_北九州市(全国)



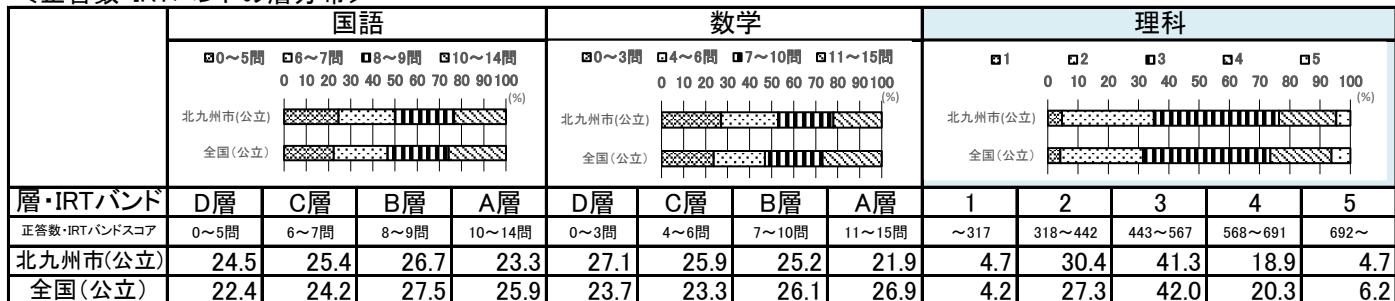
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



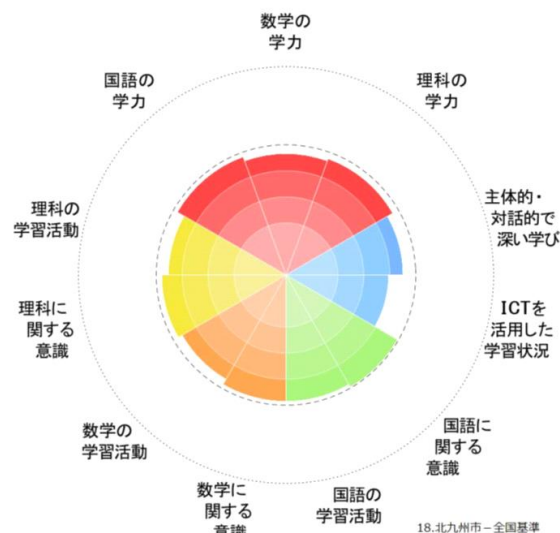
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

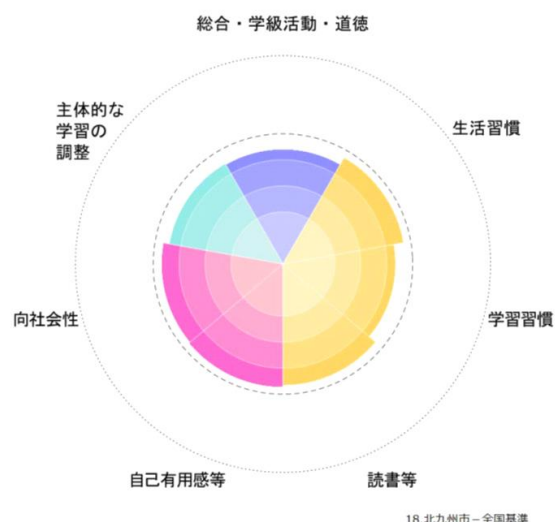


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

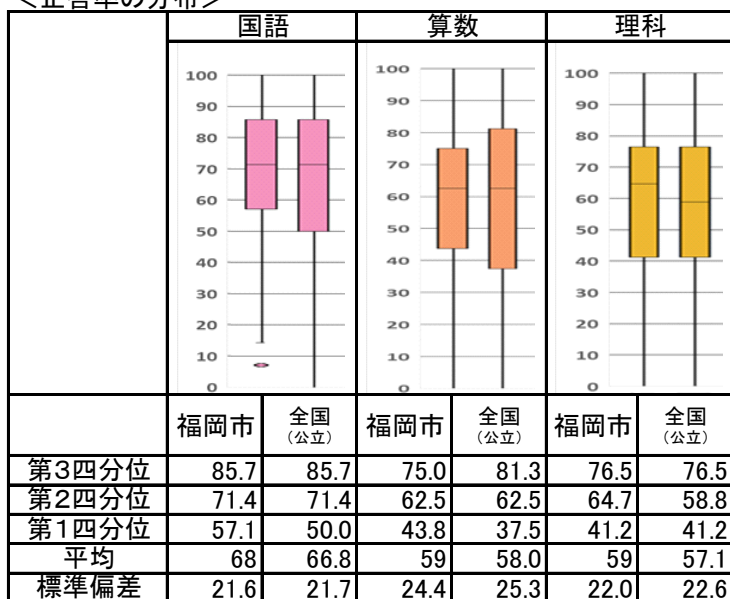
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「理科に関する意識」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「生活習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「国語に関する意識」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「ICTを活用した学習状況」や「学習習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。

19.福岡市

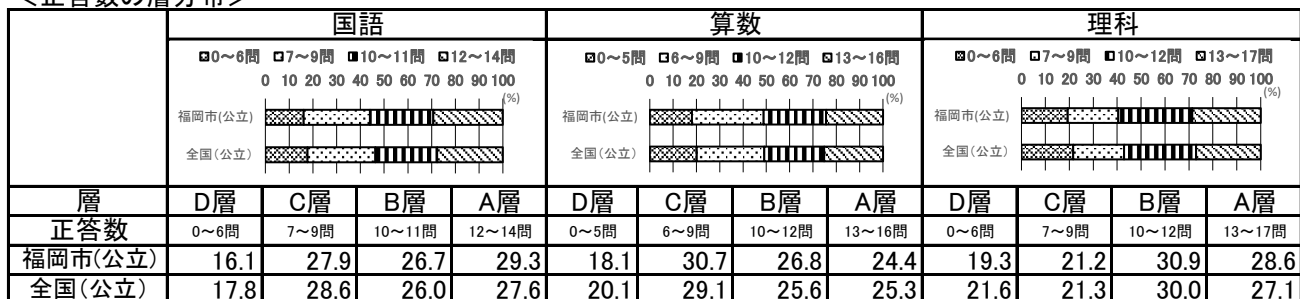
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

＜正答率の分布＞



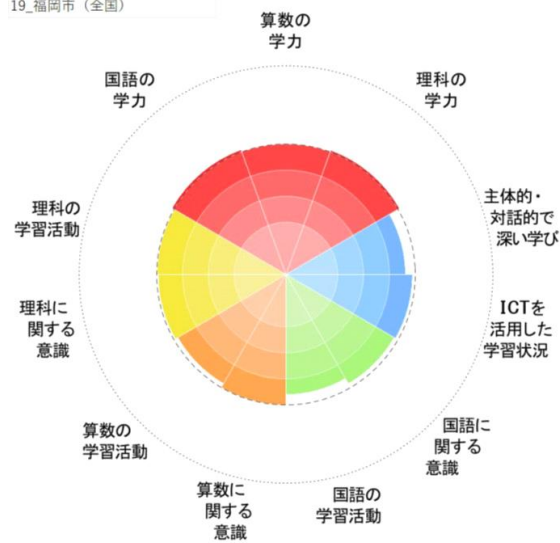
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。

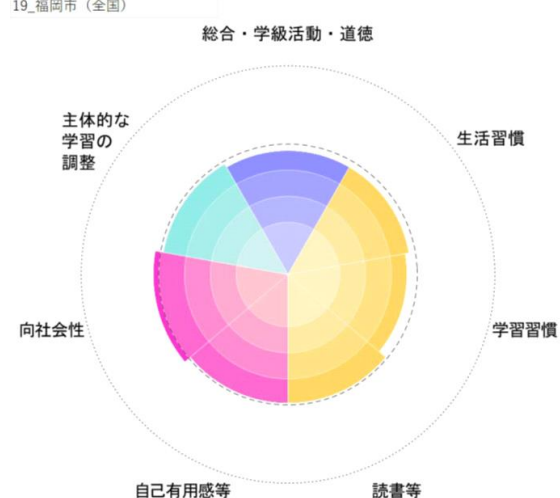
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

19_福岡市(全国)



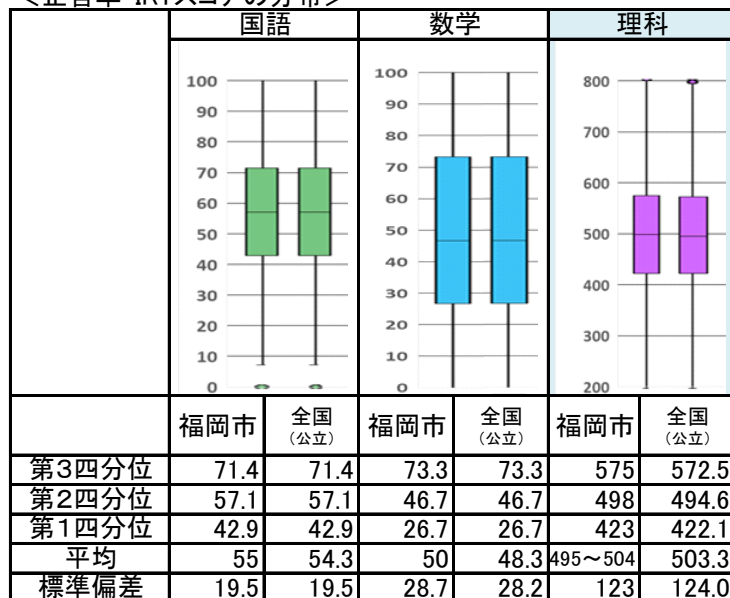
【その他の学力・学習状況】(全国基準)

19_福岡市(全国)



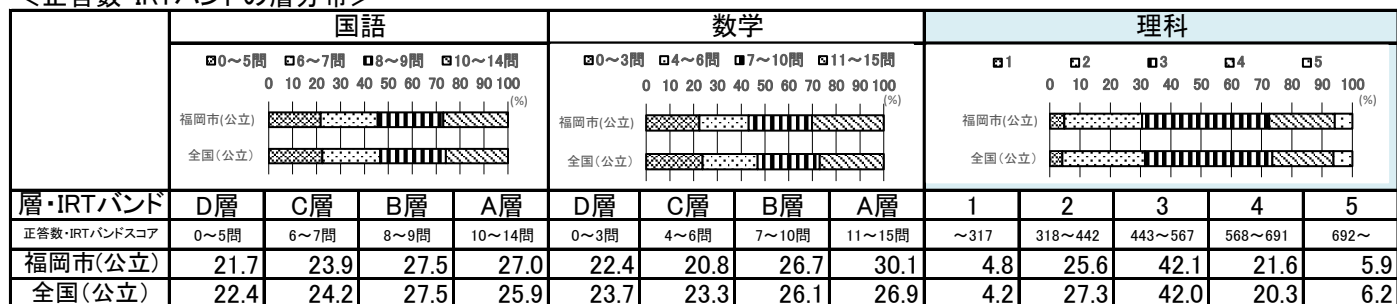
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



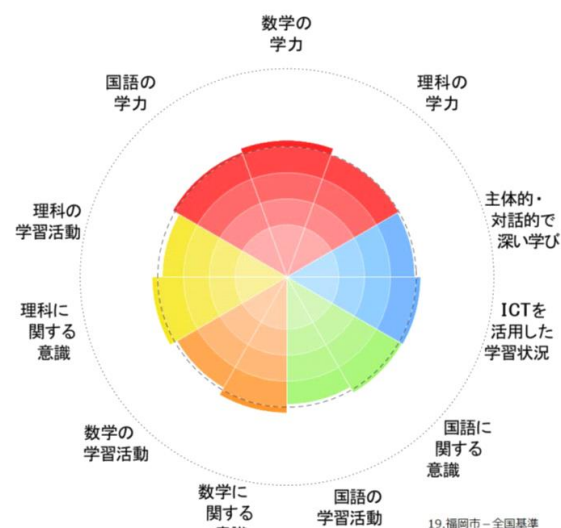
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

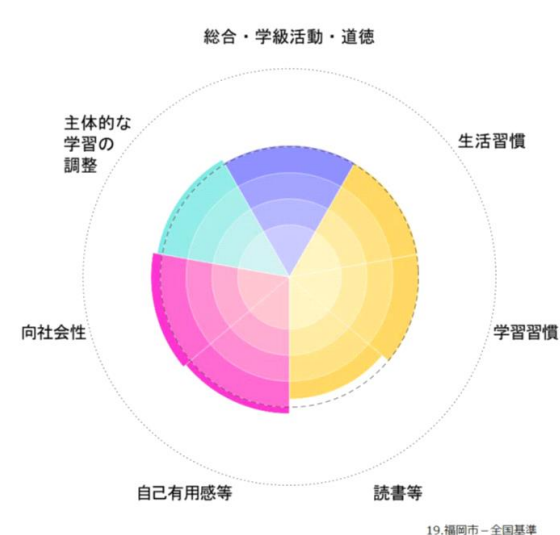


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

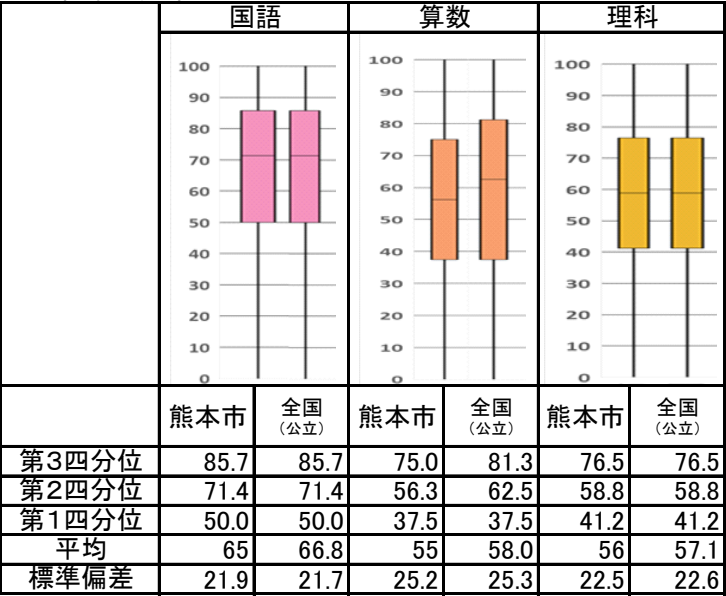
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「向社会性」や「算数に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「主体的・対話的で深い学び」や「学習習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「向社会性」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「理科の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

20.熊本市

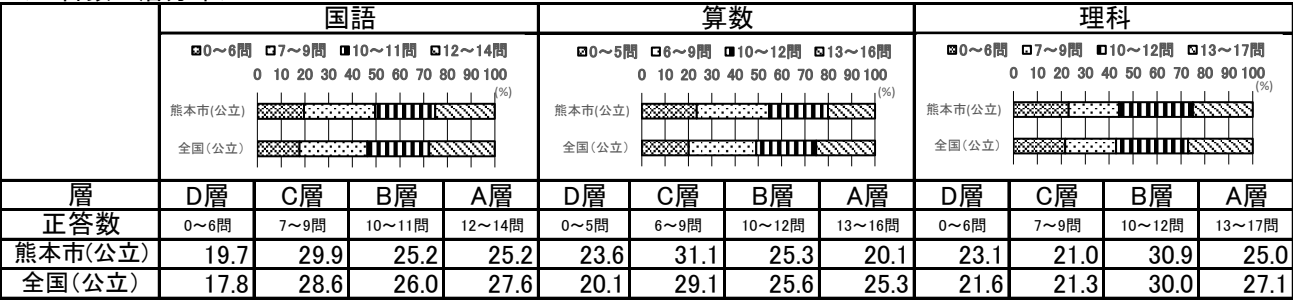
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

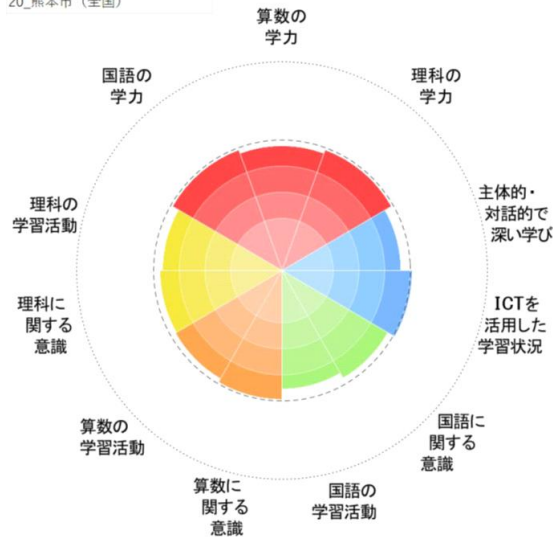
＜正答率の分布＞



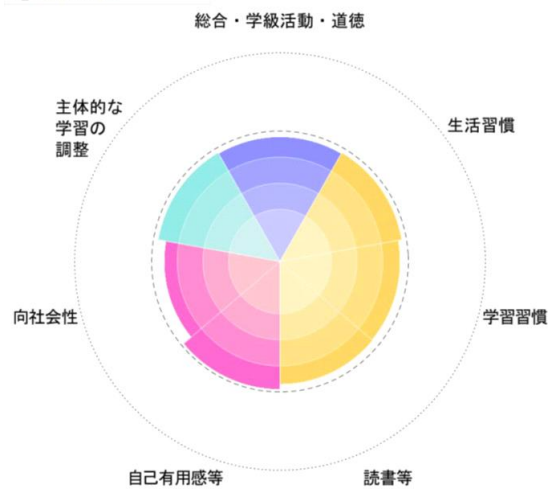
＜正答数の層分布＞



＜結果チャート＞ ※点線は全国平均を示している。
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)
20_熊本市(全国)

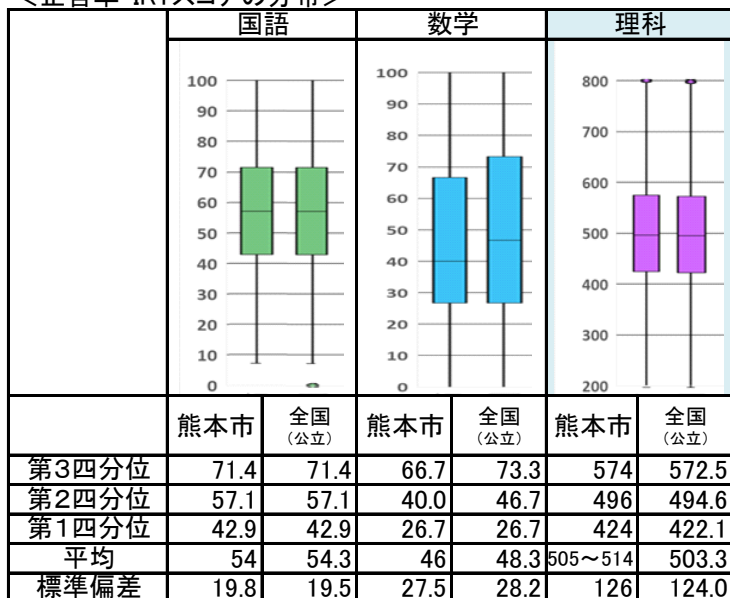


【その他の学力・学習状況】(全国基準)
20_熊本市(全国)



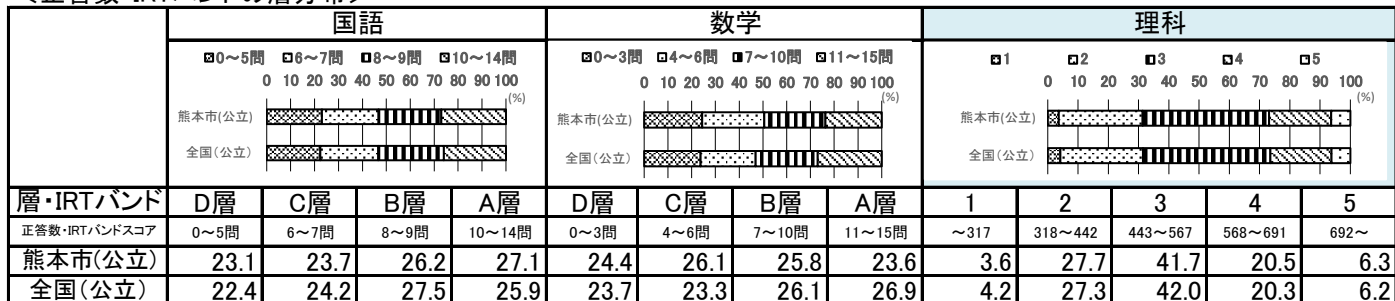
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



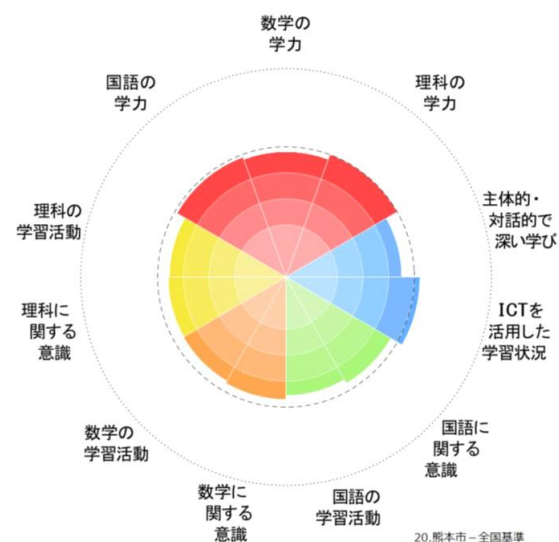
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

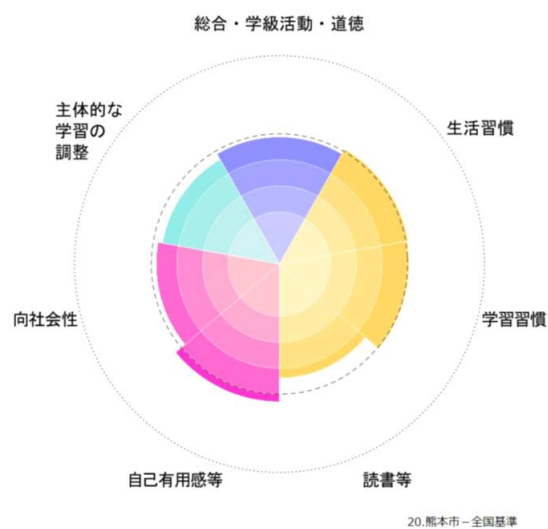


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「自己有用感等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「向社会性」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。
- ・中学校においては、「自己有用感等」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、低い結果が出ている(いずれも、全国と比較しても低い)。